

◆科目 (本項目は2017年度以降入学生向けです。2016年度以前入学生は別ファイルを参照してください)

ILAC 科目の紹介

1. ILAC科目修得により目指すもの

ILAC科目は、人文科学・社会科学・自然科学・情報科学・外国語・保健体育・キャリアデザインなどの各分野をバランスよく学ぶことによって、社会や世界で活躍するために必要な、幅広い知識や柔軟な思考法、自主的に課題を発見しそれを解決する力や文章作成能力、他者との円滑なコミュニケーション能力など、真の意味での「教養」を身につけるために開設されています。基礎力を養成する基盤科目から、応用・発展的なりベラルアーツ科目、専門性の高い総合科目など、段階に応じて多様で体系的な学修が可能となります。

2. ILAC科目のカリキュラムについて

各科目には次のような番号（ナンバリング）が付されています。これは「学修の段階や順序等を表し、教育課程の体系的性を明示するための仕組み」です。

100番台には、基盤科目・外国語科目・選択基盤科目が設置されています。大学生としての基本的な学問への臨み方、および各分野の知識・考え方を身につけ、大学4年間の学習の土台づくりを行うことを目的としています。

200番台には、リベラルアーツ科目と外国語科目が設置されています。リベラルアーツ科目では、基盤科目の内容をさらに発展、または専門的にした授業が開講されており、皆さんの興味に応じて、教養を深め、視野を広げることができます。また、外国語科目では、1年次に履修した語学のスキルや教養としての外国語をさらに向上させます。

300番台には、総合科目・教養ゼミが設置されています。100番台・200番台の科目の学びをさらに発展させ、真のリベラルアーツの修得を目的としています。少人数で開講される教養ゼミでは、教員や受講生との議論・学び合いを行うことができます。

移り変わりの激しい時代を生きる私たちには、学問の壁を越えて、柔軟な発想で知識・考え方を取り入れ、直面する問題を打開し、自由な世界を切り開いていくことが必要です。リベラルアーツとは単に教養科目を意味するものではなく、自由な世界を切り開く知識・考え方、それを修得する力を示します。真のリベラルアーツを、ILAC科目で修得していきましょう。

科目名称	基盤科目	外国語科目	選択基盤科目	リベラルアーツ科目	外国語科目	総合科目・教養ゼミ
分野	1・2・3・5群の科目	4群（英語、諸外国語）の必修科目	0群の科目	0～5群の科目	4群 ・必修外国語 ・選択必修外国語（英語か諸外国語） ・選択外国語	0～5群の科目
科目	日本古典文学A/B 社会学I/ 入門生物学A/B等	English1 I/II English2 I/II 〇〇語1 I/II 〇〇語2 I/II	基礎ゼミ 情報処理演習I キャリアデザイン入門 法政学への招待等	日本史I/II 地理学LA/LB フランスの文化と社会LA/LB 健康の科学LA/LB等	English3 I/II ビジネス・イングリッシュI/II 〇〇語3 I/II 〇〇語4 I/II 中国語コミュニケーション基礎I/II等	美術論A/B 人間行動学A/B 相対性理論と宇宙A/B 教養ゼミ（各教養ゼミごとにテーマあり）など
概要	教養（リベラルアーツ）・専門学部の学びの基盤となる、人文科学・社会科学・自然科学のそれぞれの学問分野における基礎的な知識と基本的な考え方、および保健体育科目をバランス良く学びます。	大学の初年次生として必要な基礎的な語学力を養うと同時に、異文化や世界の情勢への理解を深めるため、英語をはじめ諸外国語（ドイツ語・フランス語・ロシア語・中国語・スペイン語・朝鮮語・日本語）をバランス良く学びます。	既存の学問分野にとらわれない汎用性のある知識や技能を身に付けるため、基礎ゼミや情報処理、就業力育成など、初年次に修得すべき科目を学びます。法政学では法政大学の歴史や現状について学びます。	基盤科目で修得した基礎的な知識の上に、さらに深い教養を身につけます。各学問分野をより高度に、バランス良く修得するとともに、専門科目の枠組みに縛られず、体系的・学際的に学びます。	学生の選択に基づく、より高度な語学力や異文化理解力の向上を目指し、現代のグローバル社会に通用する国際感覚を養います。英語・ドイツ語・フランス語・ロシア語・中国語・スペイン語・朝鮮語・日本語の全てが開講されています。	リベラルアーツ科目と連動した発展的な学びから、単独で完結する学びまで、多様な科目を配置し、真のリベラルアーツの修得を目指します。教養ゼミではゼミナール形式で、学部専門科目とは異なる高度な学びを実現します。
年次	100番台 ※1 (1年次以上)		200番台 ※2 (1・2年次以上)		300番台 ※3 (2年次以上)	

※1 100番台・・・主として基礎的な内容の科目を意味しています。

※2 200番台・・・主として応用的な内容の科目を意味しています。

※3 300番台・・・主として発展的な内容の科目を意味しています。

3. ILAC科目100番台～300番台／0群～5群の履修について

ILAC（アイラック）科目は半期（春学期・秋学期）ごとに授業を完結する Semester 制を採用しており、科目名の後に「Ⅰ/Ⅱ」、「A/B/C/D・・・」と表記します。成績評価は半期ごとに出され、単位を修得していきます。科目名称によって、以下のような特徴があります。履修計画の参考としてください。


(1) 「Ⅰ/Ⅱ」とは、連続履修することで、より理解が深まるとされる科目を示しています。ⅡについてはⅠを履修していることが前提となっている科目もあるので、履修登録前に、必ずWEBシラバスで確認してください。特に外国語科目（必修および選択科目）は、原則としてⅠ/Ⅱを連続履修することが前提とされていますので、注意が必要です。

(2) 「A/B/C/D・・・」とは、「Ⅰ/Ⅱ」のように履修の順次性を問わない科目を示しています。例えば、「〇〇学A」と「〇〇学B」では、「〇〇学B」は必ずしも「〇〇学A」の履修を前提としていません。「〇〇学A」と「〇〇学B」とで、異なる分野の学習を通じて、相互の理解を深めることができます。

(3) リベラルアーツ科目は、科目名の後に「L」が付きます（例：□□学LⅠ/LⅡ、△△論LA/LB/LC/LD等）。これは、基盤科目との違いを明示するものです。リベラルアーツ科目には、基盤科目を履修していることが前提になっている科目もあります（例：倫理学LⅠは、倫理学Ⅰの内容をさらに発展させて学ぶ）。履修登録前に、WEBシラバスで必ず確認し、計画的な学習を心掛けてください。

(4) 単位を修得した同名科目を再度履修することはできません。ただし、ⅠとⅡ、AとB、AとLA等は異なる科目です。例えば、〇〇学Aと〇〇学LAであれば、どちらも履修することができます。また、総合科目でテーマ別に複数開設している「教養ゼミⅠ/Ⅱ」についても、科目名は共通のため、在学中に一度しか履修できません。科目名称のルールを理解し、計画的に履修してください。なお、以降の説明では、特別な場合を除き「Ⅰ」「Ⅱ」（または「Ⅲ」「Ⅳ」）等の記述を省きます。

市ヶ谷リベラルアーツセンターでは、カリキュラム・マップおよびカリキュラム・ツリーを作成しています。以下から確認することができますので、履修の際には、本冊子、WEBシラバスとあわせて、ぜひ参考にしてください。

カリキュラム・マップ	ILAC科目／市ヶ谷基礎科目・総合科目と学習到達目標の相関関係を表で示したもの	
カリキュラム・ツリー	学習目標を達成するために、ILAC科目／市ヶ谷基礎科目・総合科目がどの分野、年次に配当されているかなどを図で示したもの	

URL : <http://www.hoseikyoiu.jp/ilac/index.html>

4. 各分野の概要について

(1) ILAC科目0群（導入・入門系科目）

ILAC科目0群を開設する目的は、ILAC科目の1群から5群までの科目の履修を容易にするため、それらの導入部を学び、基本的な知識を備えるためです。

・「大学を知ろう <法政学>への招待」（2018年度まで「法政学への招待」）、「法政学の探究」は法政大学の歴史と現状を知ること、本学で学ぶことの意義を考え、より深い理解を得るための科目です。

・「キャリアデザイン入門」「キャリアデザイン応用」は、「大学生が『就業力』を身につけるために、授業で何をどのように学ぶべきか」を目的に編成された科目です。卒業後に働くことを考えたとき何を大学時代に学んでおけばいいのか、深く考える仕組みを授業に取り入れています。

(2) ILAC科目1群（人文科学分野）

1群の科目は、文化全般をその研究対象とし、さらに、文化を創り出す人間とは何か、という研究課題をもって、います。そのため、研究対象と講義内容は、多岐にわたります。

基本となるのは、「文学」「歴史」「哲学」の3分野といえます。文学では、日本の古典・近現代文学を始め、中国古典文学や西欧文学の講義を開講しています。哲学や歴史についても同様に、日本・東洋・西洋それぞれの専門の教員による講義が設置されており、さらに論理学・倫理学・言語学・文章論・宗教学・芸術なども含むさまざまな分野の教員による講座を開講しています。

以上の科目は「人文科学」と呼ばれ、古来教養の根幹をなす学問分野です。これらの科目を受講することを通して、幅広い知見を身につけるとともに、過去を学ぶことによって現在を考察し、さらには未来を展望する能力をつけることが狙いとなります。

(3) ILAC科目2群(社会科学分野)

2群の開講科目は、「法学」「政治学」「経済学」「社会学」「心理学」「地理学」「文化人類学」「社会思想」の8分野です。

これらの科目は、いずれも、人間社会のさまざまな側面を、それぞれ独自の視角や方法によって分析・検討するものです。各科目では、それぞれの分野の基本的な知識や視点を学ぶことで、人間社会のさまざまな現象を理解するための基礎的な教養と知見を身につけます。それと同時に、特にリベラルアーツ科目を通じてそれぞれの分野が築き上げてきた理論や手法を学ぶことで、専門的・発展的な問いを考えていくための思考力・洞察力を養います。

学生のみなさんには、それぞれの科目を通じて、自分がそのなかの一員である社会について理解を深めて、人間社会のさまざまな現象や問題について考える基礎としてほしいと思います。

(4) ILAC科目3群(自然科学分野)

3群は、さまざまな自然科学の授業によって構成されています。

基盤科目では、自然科学の学習に必要な基礎的知識を習得します。リベラルアーツ科目では、さまざまなテーマを発展的に学習します。さらに、専門科目である総合科目や教養ゼミを通して、それらのテーマをより深く探求できるようなカリキュラム構成となっています。

基盤科目は、「教養数学」「基礎数学」「入門物理学」「入門化学」「入門生物学」「天文学」「科学史」および「サイエンス・ラボ」からなる選択必修科目です。いずれも、文科系の初学者にもわかりやすく学ぶことができるよう工夫されています。

リベラルアーツ科目は、「数学特講」「発展数学」「教養物理学」「教養化学」および「教養生物学」からなる選択必修科目です。各自の興味に合わせて発展的な学習を行ってください。

なお、基礎数学および発展数学は順次性のある科目です。Ⅰ→Ⅱの順に履修することが望まれます。

3群の履修を通して、学生の皆さんが自然科学そのものに興味を持つだけでなく、自然科学を通じたものの見方を習得し、各自の専門分野における学習・研究に役立てることが期待されています。

(5) ILAC科目4群(外国語科目)

必修外国語は卒業所要単位です。選択科目の外国語関係科目も、修得すれば卒業所要単位に含めることができ、なるべくあわせて履修することが望まれます。また、他学部公開科目にある総合科目の中にはさまざまな外国語関係科目があり、履修・修得すれば、専門科目としての単位になります。なお、他に、専門科目の関連科目群に含まれる選択科目の国際コミュニケーション語学があります。4群の科目ではありませんが、4群の選択科目の外国語関係科目と、体系的な履修ができるようになっています。

a. 英語

ILAC科目の「英語」では、高校までに身につけた運用能力をさらに伸ばすとともに、世界の多様な文化に対する理解を深め、批判的思考能力を涵養します。

b. 諸外国語

「諸外国語」は、それぞれの言語を学びながら、その言語が用いられている地域の歴史・文化・生活に接し、理解を深めることを目的に開講されています。

外国語科目は、必修諸外国語(1・2年次)、選択必修外国語(2年次以上)、選択外国語(2年次以上)、さらに

リベラルアーツ科目と総合科目から構成されています。必修諸外国語では、大学で新しく出会う外
<各外国語科目の授業内容等について>

各外国語科目（英語および諸外国語）の授業の目的や目標、各年次で履修する授業内容、履修パターンなどについて、市ヶ谷リベラルアーツセンターWeb掲示板 (<https://hosei-keiji.jp/ilac/gaikokugo2021/>) にて紹介しています。また、英語については、選択科目、総合科目、グローバル・オープン科目のレベルも掲載していますので、必ず確認してください。

「諸外国語」は、それぞれの言語を学びながら、その言語が用いられている地域の歴史・文化・生活に接し、理解を深めることを目的に開講されています。

外国語科目は、必修諸外国語（人間環境学部は1・2年次、キャリアデザイン学部は1年次）と選択外国語、さらにリベラルアーツ科目と総合科目から構成されています。

必修諸外国語では、大学で新しく出会う外国語の基礎を1年次に学び、その基礎力を用いて2年次にさらなる学習を続けます。

選択外国語には、表現や視聴覚といったコミュニケーション能力を訓練する科目や、時事問題や語学能力検定といった実践的な語学運用能力を身につける科目など、言語ごとにバラエティ豊かな科目が設置され、語学力の修得とともに生きた外国語の世界に触れることができます。

リベラルアーツ科目には、1年次から履修できる「〇〇語の世界L」という入門のための科目があります。2年次から履修できる「〇〇の文化と社会L」では、その言語が話される地域の文化や生活をより広く深く学ぶことができます（「フランスの文化と社会L」のみ1年次から履修できます）。

総合科目では、それまでに学習した外国語の能力を十分に生かしつつ、より高度で専門的な内容を学んでいきます。さらにもうひとつの外国語の世界に触れてみたい学生のために「第三外国語としての〇〇語」という科目もあります。

このように、法政大学では、とても多彩な外国語の世界がみなさんを待っています。

なお、選択外国語科目のテキストは、担当教員より受講が許可されてから購入してください。

（※）総合科目…人間環境学部・キャリアデザイン学部生は、2年次以上で他学部公開科目として履修します。公開科目のうち、人間環境学部・キャリアデザイン学部生のみ履修可能な科目もあります。積極的に履修してください。詳しくは、WEBシラバスを確認してください。

（6） ILAC科目5群（保健体育分野）

スポーツ総合演習は、すべて週に1回、半期の科目であり、①「クラス指定」の科目と②「自由に選択履修」できる科目の二つの形式で開講されています。

①は必修科目で、原則学部・学科・所属クラスを単位として構成され、指定された学期・曜日・時限の科目のみ履修することができます。②は選択科目で、いずれの科目も履修に際しての制限はありませんが、履修希望者が履修可能定員を超えた科目については事前のガイダンスにおいて抽選で履修可能者を決定します。卒業のためには、上記のいずれかの形式で2単位を取得することが必須となりますが、5群の単位としては①、②の授業を各1回、計4単位を上限として履修・取得することが認められています。

この科目は、数種目のスポーツ・身体活動を教材とした演習や講義等で構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験やレポート等の評価を総合的に判定して単位を授与することになります。

スポーツ総合演習の詳細については、学部ガイダンスの際に説明します。また、2年次以降にも5群の科目を履修することができます。詳細は学部ガイダンスや履修の手引きを参照してください。

ILAC 科目の履修上の注意

1. 共通事項

(1) ILAC科目/市ヶ谷基礎科目の再履修について（概要）

以下は、ILAC科目/市ヶ谷基礎科目の再履修に関する概要です。詳細は、市ヶ谷リベラルアーツセンターWeb掲示板「ILAC科目/市ヶ谷基礎科目の「再履修」について」(<https://hosei-keiji.jp/ilac/sairishu2021/>)を確認してください。

0～3群 【選択/選択必修】	「ILAC/市ヶ谷基礎科目・総合科目時間割表」の中から、不足する単位を満たすよう履修してください。必ずしも修得できなかった科目（DまたはE評価の科目）を履修する必要はありません。
4群【必修】 (外国語科目)	外国語科目の再履修方法については、市ヶ谷リベラルアーツセンターWEB掲示板「4群(外国語)科目 再履修ガイド」(https://hosei-keiji.jp/ilac/sairishu2021/)を確認してください。所属学部学科・入学年度によって再履修方法が異なります。対象の再履修ガイドを確認してください。
5群【必修】 (体育科目)	再履修クラスを履修します。希望者は事前に受講希望を申請する必要があります。申請期間や申請方法等の詳細は、市ヶ谷リベラルアーツセンターWeb掲示板「5群(体育)科目の履修について」(https://hosei-keiji.jp/ilac/taiiku2021/)で案内しますので、必ず確認してください。

(2) 受講者数に定員のある科目について

春学期1回目の授業に出席し、担当教員の受講許可を得てください。選抜を行う場合、方法は教員が指示します。許可された学生のみ履修登録できます。詳細は、市ヶ谷リベラルアーツセンターWeb掲示板「ILAC/市ヶ谷基礎科目・総合科目の抽選・選抜結果について」(<https://hosei-keiji.jp/ilac/senbatukekka2021/>)で確認してください。
※春学期のみ、秋学期のみ履修を希望する場合も、必ず春学期の1回目の授業で教員にその旨を申し出て、受講の許可を受けてください。

2. 0群（導入・入門系科目）の履修について

(1)「基礎ゼミ」は、受講学部・学科を優先するものがあるので、時間割やシラバスに注意してください。

(2)「大学を知ろう <法政学>への招待」は、2018年度までに「法政学への招待」の単位を修得済みの場合は履修できません。

(3)「キャリアデザイン入門」は、1年次のみ履修可能です。

(4)「キャリアデザイン応用」は、2017年度までに「就業基礎力養成Ⅰ」の単位を修得した方は履修できません。

	2017年度までに 就業基礎力養成Ⅰの 単位を修得済み	2017年度までに 就業基礎力養成Ⅱの 単位を修得済み	2017年度までに キャリアデザイン演習の 単位を修得済み
キャリアデザイン応用	×履修できません	○履修できます	○履修できます

3. 1群（人文科学分野）・2群（社会科学分野）・3群（自然科学分野）の履修について

(1) 1年次生が履修する場合は、学部・学科・クラス等の指定があります。2～4年次生は学部・学科・クラスの指定はありません。「ILAC/市ヶ谷基礎科目時間割」(<https://hosei-keiji.jp/ilac/timeschedulematome2021/>)を確認し、履修してください。

(2)「教養数学A・B」は1年次生以上が履修可能です。「基礎数学Ⅰ・Ⅱ」は2年次生以上が履修可能です。

(3)「サイエンス・ラボA」「サイエンス・ラボB」は実験授業のため定員制です。そのため、履修登録前に仮登録が必要です。仮登録の詳細については、市ヶ谷リベラルアーツセンターWeb掲示板(<https://hosei-keiji.jp/ilac/risyuu2021/>)を参照してください。

(4) 大人数授業の抽選について 【注意：履修登録期間前に情報システムで抽選を実施】

1～3群のうち、一部の大人数授業は、履修登録期間前に情報システム上で抽選を実施し、履修者を決定します。履修を希望する場合は、対象授業や申請方法等の手続きの詳細について「大人数授業抽選ガイド」(<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2021/>)を必ず確認してください。

4. 4群（外国語科目）の履修について 【2017年度以降入学生】

(1) 必修外国語科目（4群必修科目）

「英語」と、諸外国語の「ドイツ語」、「フランス語」、「ロシア語」、「中国語」、「スペイン語」、「朝鮮語」、「日本語」（留学生のみ）のうちから一つの合計2言語を学びます。1年次に、英語（4単位）と英語以外の諸外国語（4単位）の計8単位を履修します。

必修外国語はクラス指定があります。それぞれ指定されたクラスで履修してください。

英語は、習熟度別クラス編成を行っています。1年次にELPA英語プレースメントテストαが2回（入学前・1月）行われ、入学前に実施するELPA英語プレースメントテストαのスコアでみなさんの必修英語のクラスを決定します。必ず受験してください。

4群（外国語）の必修単位は8単位です。1年次で2言語をそれぞれ週2回・年間8単位修得します。ただし、SSI生は英語4単位以上が必修です。

SSI生は指定されたクラスで「英語1-I・II」、「英語2-I・II」を履修するか、SSI生用の授業「入門英語（SSI）I/II」を履修するか、いずれの方法でも単位修得は可能です。ただし、教員免許を取得する場合には、「英語1-I/II」、「英語2-I/II」を2単位以上修得する必要があります。

3年次までに8単位以上（SSI生は英語4単位以上）を修得しなければなりません、できるだけ2年次までに履修を終えるようにしてください。

入学時に選択した諸外国語は、原則、途中から他の外国語に変更することはできません。

この内容に問い合わせがある場合は、キャリアデザイン学部窓口を確認してください。

科目		科目名	必修単位	
SSI・留学生 以外の学生	英語	英語1-I/II	4単位以上	3年次までに 8単位以上修得
		英語2-I/II		
	諸外国語	〇〇語1-I/II	4単位以上	
		〇〇語2-I/II		
SSI生	英語	英語1-I/II	4単位以上	3年次までに 4単位以上修得
	右記より4単位以上選択 ・教員免許を取得する場合は、 (英語1・2-I/II)を2単位以上 修得することが必要 ・入門英語（SSI）は連続・重複 履修可	英語2-I/II		
		入門英語（SSI）I/II		
留学生	英語	英語1-I/II	4単位以上	3年次までに 8単位以上修得
		英語2-I/II		
	日本語	日本語1-I/II	4単位以上	
		日本語2-I/II		

(2) 外国語選択科目（4群選択外国語）

必修外国語以外に、次の外国語選択科目があります。いずれも、4群選択外国語科目に集計されます。また、英語の選択科目は必修英語科目に充当することができます。

英語の選択科目

英語の4群選択科目には次の科目があります。

Practical English (オーラル・コミュニケーション) A-Ⅰ/Ⅱ、Practical English (オーラル・コミュニケーション) B-Ⅰ/Ⅱ、Practical English (ビジネス・コミュニケーション) A-Ⅰ/Ⅱ、Practical English (ビジネス・コミュニケーション) B-Ⅰ/Ⅱ、Practical English (英語検定試験対策) A-Ⅰ/Ⅱ、Practical English (英語検定試験対策) B-Ⅰ/Ⅱ、English for Study Abroad Ⅰ、English for Study Abroad Ⅱ

いずれも定員は約25名で、履修年次は1～4年次です。Aは初級、Bは中級です。English for Study Abroad Ⅰ/Ⅱを除き、Ⅰは春学期、Ⅱは秋学期に開講されます。English for Study Abroad Ⅰ/Ⅱは外国に留学する場合の科目で、Ⅰ/Ⅱとも春学期に開講されます。

キャリアデザイン学部の留学制度 (Study Abroad) については◆留学 65ページ参照してください。

諸外国語の選択科目

英語以外の外国語についても、必修外国語の他にさらに諸外国語を学びたい学生のために選択外国語があります。選択外国語は、それぞれの言語を学びながら、諸外国の歴史・文化・生活に接し、理解を深めることを目的に開講されています。ロシア語以外の外国語には、クラス授業以外に履修できる選択科目があります。「ドイツ語」には、「コミュニケーション」「表現法」「視聴覚」「時事ドイツ語」「検定ドイツ語」などがあります。「フランス語」には、「コミュニケーション (初級)」「視聴覚 (入門)」「視聴覚 (初・中級)」「時事フランス語」「検定フランス語 (初級)」などがあります。「中国語」には、「コミュニケーション基礎」「コミュニケーション初級」「作文初級」「視聴覚初級」「資格中国語初級」などがあります。「スペイン語」には、「コミュニケーション」「現代のスペイン語」などがあります。「朝鮮語」には、「3C (コミュニケーション)」「4B (視聴覚)」「5A (講読)」「5B (表現法)」などがあります。入学時に希望した諸外国語の選択科目のみ履修が可能です。留学生は日本語の選択科目のみ履修可能です。

なお、選択科目のテキストは、担当教員より受講が許可されてから購入してください。

a. 春学期、秋学期を合わせて通年で履修 (同一科目のⅠとⅡを連続して履修) することが原則となります。Ⅱ (秋学期) のみを履修する授業であっても、そのⅡに対応するⅠの科目の4月の春学期1回目の授業に出席し、受講許可を得て、9月に履修登録を行ってください。受講許可を得る時には、必ず同一科目をⅠ・Ⅱ (春学期+秋学期) とともに履修するのか、それともⅠ (春学期) あるいはⅡ (秋学期) のみ履修するのかを、4月の春学期1回目の授業に出席し、担当教員に申し出てください。

b. 各科目 (秋学期科目含む) とともに、必ず4月の春学期1回目の授業に出席し、担当教員から受講許可を得てください。選抜を行う場合もあります。受講が許可された場合のみ履修登録が可能です。選抜を行った場合、学習支援システムの各授業ページにて担当教員より発表します。

※選抜方法等の詳細については、市ヶ谷リベラルアーツセンター Web 掲示板 (<https://hosei-keiji.jp/ilac/senbatukekka2021/>) で確認してください。

(3) 国際コミュニケーション語学 (専門科目)

ILAC科目外国語科目の他に、英語について、専門科目の関連科目である国際コミュニケーション語学があります。国際コミュニケーション語学の英語は、国際コミュニケーション語学・英語Ⅰ/Ⅱ (中級オーラル)、国際コミュニケーション語学・英語Ⅲ/Ⅳ (中級～上級オーラル)、国際コミュニケーション語学・英語Ⅴ (中級ライティング) があります。いずれも定員は約25名です。なお2017年度以降入学者は、ILAC科目100番台の外国語科目英語 (必修) に充当することはできません。(教員免許を取得する場合は英語1-Ⅰ・Ⅱ/2-Ⅰ・Ⅱから2単位以上修得することが必要です。)

国際コミュニケーション語学は、ILAC科目ではありませんが、ILAC科目の必修外国語、4群選択外国語科目と併せて履修するようにして下さい。

なお外国語科目については、1年生向けの履修ガイダンスで詳しく説明します。

5. 5群（体育科目）の履修について

（1）科目名・履修年次・単位

必修/選択	科目名（系列）	履修年次	単位	備考
必修科目	スポーツ総合演習	原則として 1年次に履修	2単位	3年次修了までに必ず修得する必要があります。
選択科目	スポーツ総合演習 S <2017年度以降入学生> スポーツ総合演習 <2016年度以前入学生>	1～4年次	2単位	必修ではありません。2単位まで履修できます。 修得した単位はILAC科目/基礎科目の単位として卒業所要単位に計上されます。

（2）内容

体育についての演習（講義および実技）

（3）授業形態・実施場所・期間

授業形態	授業期間	種目	場所
通常授業	春学期または秋学期	複数の種目の複合	①市ヶ谷総合体育館 ②富士見坂校舎体育館

（4）保健体育ガイダンス（保健体育時間割の説明・受講授業の決定・仮登録）

保健体育ガイダンスについては、市ヶ谷リベラルアーツセンターWeb掲示板「5群（体育）科目の履修について」（<https://hosei-keiji.jp/ilac/taiiku2021/>）にて案内しますので、確認してください。

特に、必修科目の再履修や選択科目の履修を検討している学生は、履修登録の前に別途事前申請による授業参加許可を得る必要があるため、必ず上記ページを確認の上、所定の期間に手続きをしてください。

（5）履修登録

a. 新入生の必修科目

Webの申請画面に事前登録されるので各自でWeb履修登録を完了してください。

b. 選択科目の履修

c. 必修科目の再履修

クラス人数に限界があるため、履修登録（Web）の前に別途事前申請の上、授業参加許可を得る必要があります。市ヶ谷リベラルアーツセンターWeb掲示板で授業参加の可否をを公表しますので、そちらを確認の上、各自でWeb履修登録を完了してください。

（6）健康診断

大学実施の健康診断を必ず受けてください。

（7）体育会活動による単位習得

授業の受講に代えて、体育会（準加盟部は除く）の活動により、5群科目の単位を修得することができます。希望者は、学部によって登録方法などが異なるので、各学部の履修要項や案内等をよく確認し、所定の手続きに従い申請してください。ただし、この制度を実施していない学部もあるので注意してください。

- ・体育会活動による単位の修得は体育会での1年間の活動で2単位です。
- ・在学中に体育会活動によって修得できる単位の上限は2単位です。

(8) 体育科目に関する連絡

体育科目に関わる連絡は、法政ポータルサイト（Hoppii）からアクセスするWeb掲示板、市ヶ谷総合体育館1F掲示板で行います。

(9) 心身の状態についての相談

体育の授業を履修するにあたり、心身の状態について心配があり、相談したいという場合は、保健体育センターもしくは障がい学生支援室に問い合わせてください。

【問い合わせ先】 保健体育センター市ヶ谷体育課：電話 03-3264-9498

障がい学生支援室：電話 03-3264-6718

ILAC (アイラック) 科目一覧 ★2017 年度以降入学生用★

群	科目配置	必修選択	授 業 科 目	単位	年次	備考
0群	基盤	必修	基礎ゼミ	2	1	
		選択	リベラルアーツ特別講座	2	1~4	
			課題解決型フィールドワーク	1または2	1~4	
			情報処理演習	2	1~4	2020年度より春学期のみ開講
			キャリアデザイン入門	2	1	
			キャリアデザイン応用	2	1~4	(注1) 参照
	大学を知ろう <法政学>への招待	2	1~4	(注2) 参照		
リベラル	選択	法政学の探究LA	2	1~4		
		法政学の探究LB	2	1~4		
		リベラルアーツ特別実習	2	1~4	2021年度新規開講	
1群	基盤	選択必修	日本古典文学A/B	各2	1~4	
			日本近・現代文学A/B	各2	1~4	
			日本文学A/B	各2	1~4	
			外国文学A/B	各2	1~4	
			文章論	2	1~4	定員制
			言語学A/B	各2	1~4	定員制
			哲学Ⅰ/Ⅱ	各2	1~4	
			倫理学Ⅰ/Ⅱ	各2	1~4	
			論理学Ⅰ/Ⅱ	各2	1~4	
			東洋史Ⅰ/Ⅱ	各2	1~4	
			西洋史Ⅰ/Ⅱ	各2	1~4	
			日本史Ⅰ/Ⅱ	各2	1~4	
			宗教論Ⅰ/Ⅱ	各2	1~4	
			芸術A/B	各2	1~4	
			リベラル	選択必修	日本文学と文化LA/LB	各2
	日本文学と文化LC/LD	各2			1~4	
	日本文学と文化LE/LF	各2			1~4	2021年度休講
	日本文学と文化LG/LH	各2			1~4	
	外国文学と文化LA/LB	各2			1~4	
	外国文学と文化LC/LD	各2			1~4	
	外国文学と文化LE/LF	各2			1~4	
	文学と社会LA/LB	各2			1~4	
	文学と社会LC/LD	各2			1~4	
	文学と社会LE/LF	各2			1~4	
	音声学L	2			1~4	定員制
	哲学LⅠ/LⅡ	各2			1~4	
	倫理学LⅠ/LⅡ	各2			1~4	
	論理学LⅠ/LⅡ	各2			1~4	
	東洋史LⅠ/LⅡ	各2			1~4	
	西洋史LA/LB	各2			1~4	
	日本史LⅠ/LⅡ	各2			1~4	
	宗教論LⅠ/LⅡ	各2			1~4	
	2群	基盤	選択必修	法学Ⅰ/Ⅱ	各2	1~4
法学(日本国憲法)				2	1~4	
経済学Ⅰ/Ⅱ				各2	1~4	
心理学Ⅰ/Ⅱ				各2	1~4	
地理学Ⅰ/Ⅱ				各2	1~4	
政治学Ⅰ/Ⅱ				各2	1~4	
社会学Ⅰ/Ⅱ				各2	1~4	
文化人類学		2	1~4			
社会思想Ⅰ/Ⅱ		各2	1~4			
リベラル		選択必修	経済学LA/LB	各2	1~4	
			心理学LA/LB	各2	1~4	
			地理学LA/LB	各2	1~4	
			地理学LC/LD	各2	1~4	
			政治学LA/LB	各2	1~4	
			社会学LA/LB	各2	2~4	
	社会学LC/LD		各2	1~4		
	文化人類学L		2	1~4		
社会思想LA/LB	各2	2~4				
3群	基盤	選択必修	教養数学A/B	各2	1~4	
			基礎数学Ⅰ/Ⅱ	各2	2~4	
			入門物理学A/B	各2	1~4	
			入門生物学A/B	各2	1~4	
			入門化学A/B	各2	1~4	
			サイエンス・ラボA/B	各2	1~4	定員制
			天文学A/B	各2	1~4	
	科学史A/B	各2	1~4			
	リベラル	選択必修	数学特講LA/LB	各2	1~4	
			発展数学LⅠ/LⅡ	各2	2~4	
			教養物理学LA/LB	各2	2~4	
			教養生物学LA/LB	各2	1~4	
			教養生物学LC/LD	各2	1~4	
			教養生物学LE/LF	各2	1~4	
			教養化学LA	2	1~4	
教養化学LB			2	1~4		
教養化学LC	2	1~4	2021年度新規開講			
教養化学LD	2	1~4	2021年度新規開講			
教養化学LE	2	1~4	2021年度新規開講			

4群	リベラル	選択	ドイツの文化と社会LA/LB	各2	2~4	定員：30名	
			ドイツ語の世界LA/LB	各2	1~4	定員：60名	
			フランスの文化と社会LA/LB	各2	1~4	定員：30名	
			フランス語の世界LA/LB	各2	1~4	定員：40名	
			フランス生活文化論LA/LB	各2	1~4	定員：40名	
			ロシアの文化と社会LA/LB	各2	2~4	定員制	
			ロシア語の世界LA/LB	各2	1~4	定員：60名	
			中国の文化と社会LA、LC/LB、LD	各2	2~4	定員：60名 LC、LDは2021年度休講	
			中国語の世界LA/LB	各2	1~4	定員：60名	
			スペイン語の世界LA/LB	各2	1~4	定員：40名	
			朝鮮の文化と社会LA/LB	各2	2~4	定員：30名	
			日本の文化と社会LA/LB	各2	2~4	定員：30名	
			日本語の世界LA/LB	各2	2~4	定員：30名	
			英語	必修	英語1-Ⅰ/Ⅱ	各1	1
	英語2-Ⅰ/Ⅱ	各1			1		
	選択	Practical English (オーラル・コミュニケーション) A-Ⅰ/Ⅱ		各1	1~4	定員：25名	
		Practical English (オーラル・コミュニケーション) B-Ⅰ/Ⅱ		各1	1~4	定員：25名	
		Practical English (ビジネス・コミュニケーション) A-Ⅰ/Ⅱ		各1	1~4	定員：25名	
		Practical English (ビジネス・コミュニケーション) B-Ⅰ/Ⅱ		各1	1~4	定員：25名	
		Practical English (英語検定試験対策) A-Ⅰ/Ⅱ		各1	1~4	定員：25名	
		Practical English (英語検定試験対策) B-Ⅰ/Ⅱ		各1	1~4	定員：25名	
		English for Study Abroad Ⅰ/Ⅱ		各1	1~4	定員：25名	
		入門英語(SSⅠ)Ⅰ/Ⅱ		各1	1~4	SSⅠ生のみ履修可、定員：48名	
	ドイツ語	必修		ドイツ語1-Ⅰ/Ⅱ	各1	1	
				ドイツ語2-Ⅰ/Ⅱ	各1	1	
		選択		ドイツ語表現法Ⅰ/Ⅱ	各1	2~4	定員：20名
				入門ドイツ語(SSⅠ)Ⅰ/Ⅱ	各1	1~3	SSⅠ生のみ履修可、定員：30名
			検定ドイツ語Ⅰ/Ⅱ	各1	2~4	定員：30名	
			ドイツ語コミュニケーションⅠ/Ⅱ	各1	2~4	定員：20名	
			ドイツ語視聴覚Ⅰ/Ⅱ	各1	2~4	定員：30名	
	時事ドイツ語Ⅰ/Ⅱ	各1	2~4	定員：30名			
	フランス語	必修	フランス語1-Ⅰ/Ⅱ	各1	1		
			フランス語2-Ⅰ/Ⅱ	各1	1		
		選択	フランス語視聴覚(入門)Ⅰ/Ⅱ	各1	1~4	定員：30名/2021年度休講	
			フランス語視聴覚(初・中級)Ⅰ/Ⅱ	各1	2~4	定員：30名/2021年度休講	
			フランス語コミュニケーション(初級)Ⅰ/Ⅱ	各1	1~4	定員：30名	
			時事フランス語Ⅰ/Ⅱ	各1	1~4	定員：30名	
			検定フランス語(初級)Ⅰ/Ⅱ	各1	1~4	定員：30名/2021年度休講	
	情報フランス語Ⅰ/Ⅱ	各1	1~4	定員：30名/2021年度休講			
	ロシア語	必修	ロシア語1-Ⅰ/Ⅱ	各1	1		
			ロシア語2-Ⅰ/Ⅱ	各1	1		
	中国語	必修	中国語1-Ⅰ/Ⅱ	各1	1		
中国語2-Ⅰ/Ⅱ			各1	1			
選択		中国語視聴覚初級Ⅰ/Ⅱ	各1	2~4	定員：35名		
		中国語作文初級Ⅰ/Ⅱ	各1	2~4	定員：15名		
		中国語コミュニケーション基礎Ⅰ/Ⅱ	各1	1~4	定員：20名/2021年度休講		
中国語コミュニケーション初級Ⅰ/Ⅱ	各1	2~4	定員：20名				
資格中国語初級Ⅰ/Ⅱ	各1	2~4	定員：40名				
スペイン語	必修	スペイン語1-Ⅰ/Ⅱ	各1	1			
		スペイン語2-Ⅰ/Ⅱ	各1	1			
	選択	現代のスペイン語Ⅰ/Ⅱ	各1	2~4	定員：30名/(注3)参照		
スペイン語コミュニケーションⅠ/Ⅱ	各1	3~4	定員：30名				
朝鮮語	必修	朝鮮語1-Ⅰ/Ⅱ	各1	1			
		朝鮮語2-Ⅰ/Ⅱ	各1	1			
	選択	朝鮮語3C-Ⅰ/Ⅱ	各1	2~4	定員：30名		
		朝鮮語4B-Ⅰ/Ⅱ	各1	2~4	定員：30名		
		朝鮮語5A-Ⅰ/Ⅱ	各1	3~4	定員：30名		
朝鮮語5B-Ⅰ/Ⅱ	各1	3~4	定員：30名				
日本語	必修	日本語1-Ⅰ/Ⅱ	各1	1	留学生のみ		
		日本語2-Ⅰ/Ⅱ	各1	1			
5群	基盤	必修	スポーツ総合演習	2	1		
		選択	スポーツ総合演習S	2	1~4		
	リベラル	選択	健康の科学LA/LB	各2	1~4	定員制	

科目配置の「基盤」は基盤科目を、「リベラル」はリベラルアーツ科目を指します。

2017年度をもって、「キャリアデザイン演習」、「就業基礎力養成Ⅰ/Ⅱ」は閉講しました。

(注1) 2017年度以前に「就業基礎力養成Ⅰ」を修得済みの場合は、「キャリアデザイン応用」を履修できません。

(注2) 2019年度より「法政学への招待」は、「大学を知ろう <法政学>への招待」へ科目名称が変更となりました。

2018年度以前に「法政大学への招待」を修得済みの場合は、「大学を知ろう <法政学>への招待」を履修できません。

(注3) 2021年度より「時事スペイン語Ⅰ/Ⅱ」は、「現代のスペイン語Ⅰ/Ⅱ」へ科目名称が変更となりました。

2020年度以前に「時事スペイン語Ⅰ/Ⅱ」を修得済みの場合は、「現代のスペイン語Ⅰ/Ⅱ」を履修できません。

専門科目の紹介及び履修上の注意

専門科目の履修

キャリアデザイン学部では、人が生涯にわたってたどる人生の軌跡の総体を「キャリア」として捉え、自己のキャリアを自立的・主体的にデザインするとともに、他者のキャリア形成を支援する能力を身につけていきます。そこで、とくにキャリアの設計・再設計をめぐる調査・研究を進めることができる知識・能力の養成を重視し、講義型科目および体験型科目双方を車の両輪としたカリキュラムを用意しています。こうしたカリキュラムを系統的に履修・学習することによって、自ら社会に働きかけていくことができる人材の育成を目指しているのです。

本学部では、キャリア形成の代表的な場として、(1)発達・教育キャリア領域（教育組織や人の発達など生涯学習社会におけるキャリア形成）、(2)ビジネスキャリア領域（人材育成や組織マネジメントなど産業社会におけるキャリア形成）および(3)ライフキャリア領域（家族や地域コミュニティなど生活に密接した場におけるキャリア形成）という三つの領域を設けています。専門性の高いキャリアデザイン研究を行うためには、基盤となる知識群について広く学際的に学んだ上で、一定の領域に絞って、専門的な知識群を深く学んでいく必要があります。このため、本学部のカリキュラムでは、基盤となる知識群を履修・学習した上で、上記(1)～(3)のいずれかの領域を選択し、当該領域を重点的に学ぶことによって高度な専門性をもった知識を身に付けるように体系づけられています。

科目履修の設計に際しては、卒業後の進路を念頭に置くとともに、学部教育を通じてどのような力をつけたいかを考え、履修計画を立ててください。そのために確認したいことや質問したいことがあれば、キャリアアドバイザーや基礎ゼミの担当教員等に相談して下さい。

本学部のカリキュラムの全体像については、下記の「カリキュラムの全体図」をご覧ください。

4年秋学期	学生研究発表会				
演習科目 2年秋学期～	専門演習（ゼミ 2年秋学期～） ・ 卒業論文（4年） キャリアデザイン学総合演習（3～4年） ※演習全10単位・卒論4単位				
展開科目 （プログラム科目） 2年春学期～ ※52単位以上 （選択した領域で36 単位以上）	教育と社会（マクロ） 現代教育思想 教育社会学Ⅰ・Ⅱ など	産業社会（マクロ） 労働経済学 職業キャリア論 など	多文化・グローバル社会（マクロ） 多文化社会論Ⅰ～Ⅲ 国際関係論Ⅰ・Ⅱ 国際地域研究Ⅰ・Ⅱ など	体験型選 択必修科 目 2年春学期 ～	ペア科目 キャリアサポート実習 キャリア体験学習 キャリア体験学習（国際） 多文化教育Ⅰ・Ⅱ メディアリテラシー実習Ⅰ・Ⅱ 地域学習支援Ⅰ・Ⅱ（学部認定資格）
	学校教育と地域学習（メソ） 学校論Ⅰ～Ⅳ 生涯学習論Ⅰ・Ⅱ など	集団・組織（メソ） 戦略経営論Ⅰ・Ⅱ 経営組織論Ⅰ・Ⅱ 経営分析論Ⅰ・Ⅱ など	文化マネジメント（メソ） アート・マネジメント論 ミュージアム概論 など		
基幹科目 1年～ ※20単位以上	発達と学習（ミクロ） キャリアカウンセリングⅠ～Ⅲ 生涯発達心理学Ⅰ・Ⅱ など	個人・人間（ミクロ） 産業・組織心理学Ⅰ・Ⅱ 人材育成論Ⅰ・Ⅱ リーダーシップ論 など	自己・他者・関係（ミクロ） アイデンティティ論 家族論 コミュニティ社会論Ⅰ・Ⅱ など	総合科目 2年春学期 ～	就業機会とキャリア 職業能力ベーシックスキルⅠ・Ⅱ
	外書講読（2クラス） 発達・教育キャリア領域	外書講読（2クラス） ビジネスキャリア領域	外書講読（2クラス） ライフキャリア領域		
ILAC(アイラック科目) ※36単位以上	基礎ゼミ（必修） 情報処理演習 必修外国語 等				



関連科目	◆教職・資格課程科目（教職・図書館司書・博物館学芸員・社会教育主事）の一部 ◆国際コミュニケーション語学 ◆経営学部主催科目 ◆国際文化学部主催科目 ◆人間環境学部主催科目
------	--

自由科目	他学部公開科目 ERP科目 ESOP科目 グローバル・オープン科目 インターン・ボランティア 短期語学研修
------	---

1 科目の構成

上記の「カリキュラムの全体図」に沿って、具体的カリキュラムの内容について説明していきます。

キャリアデザイン学部の科目は、領域とグレードという二種類の軸に従って配置されています。まず、領域とは、(1)発達・教育キャリア領域、(2)ビジネスキャリア領域、および(3)ライフキャリア領域、という三領域です（前頁全体図の横軸）。

(1)発達・教育キャリア領域では、人間発達、学校教育および学習社会における基本的な概念や理論を理解すると同時に、多様な現場実習によって、臨床的・実践的な基礎能力とスキルの向上を目標としています。(2)ビジネスキャリア領域では、働くこと、すなわちワークキャリアについて理解を深め、自らの働き方だけでなく働く場のあり方について、自ら研究を深めていくことを目標とします。(3)ライフキャリア領域では、私たちの生活に密着する家族やコミュニティについて理解を深め、社会の「仕組み」を読み解く視点を育てることを目標としています。この他、三領域に含まれない科目群として「関連科目」があります。これはキャリアに関連した教職や資格等に結びついた科目や生涯学習に必要なスキル（技能）を養成する科目が配置されています。

続いて、グレードは、基礎から応用までの相対的な位置を示します（上記全体図の縦軸）。基礎から応用に向かって、①基幹科目、②展開科目および③演習科目があり、これらの科目とは別に④体験系科目があります。以下、各グレード・領域別に、履修上、留意すべき点について説明します。

2 基幹科目

基幹科目は、本学部における学習目標を実現するため、基礎的・基盤的知識の修得を目指します。

まず、「基礎ゼミ」「キャリア研究調査法入門」「キャリア研究調査法」および「キャリアデザイン学入門」の四科目は必修科目です。これらのうち、「基礎ゼミ」と「キャリア研究調査法」は、少人数のゼミ形式で行われ、大学における学習の基礎的スキルや、キャリア研究調査の方法論をさまざまな演習をまじえて丁寧に学ぶ場です。

入門系科目は、(1)発達・教育キャリア領域、(2)ビジネスキャリア領域、(3)ライフキャリア領域に応じて配置してあります。上述のとおり、上級学年に至ると、(1)～(3)のいずれかの領域を重点的に学びますが、その基盤となる知識を修得する科目です。したがって、入門系科目の履修は、上級学年時に、重点的に学びたい領域を想定して行ってください。

共通基幹科目は、(1)～(3)の領域において共通に必要とされるものです。

3 展開科目

展開科目では、上記基幹科目の知識の上に、各自、三領域のうちのいずれかに重点を置き、専門的な知識を修得していきます。以下では、各領域別に、科目構成の特徴を説明します。

(1) 発達・教育キャリア領域

発達・教育領域は、(a)教育と社会、(b)学校教育と地域学習、(c)発達と学習に分けられます。(a)教育と社会はマクロ的な視点、(b)学校教育と地域学習はメゾ的な視点、(c)発達と学習はミクロ的な視点、に基づく科目を配置しています。

(a) 教育と社会には、「教育経済学」、「教育社会学Ⅰ・Ⅱ」、「学習の社会史A・B」などの科目があります。私たちは真空の世界に生きているわけではありません。社会とのかかわりの中で生きています。これらの科目では、教育や学習における歴史・制度・文化などの影響や諸外国との比較などを扱います。

(b) 学校教育と地域学習には、「学校論Ⅰ～Ⅳ」、「教育マネジメントⅠ・Ⅱ」などの科目があります。学校や地域、家族といった単位が対象です。個人の発達や教育を考えるうえで、学校や地域、家族に注目することは重要なテーマとなります。

(c) 発達と学習には、「教育心理学」、「キャリアカウンセリングⅠ～Ⅲ」などの科目があります。「発達」、「学習」、「パーソナリティ」といった事柄に関する知識やアプローチの方法について、科学的に理解していきます。

(2) ビジネスキャリア領域

ビジネスキャリア領域の科目は、(a)産業社会、(b)集団・組織および(c)個人・人間に分けられます。(a)産業社会はマクロ的な視点、(b)集団・組織はメゾ的な視点、(c)個人・人間はミクロ的な視点、に基づく科目を配置しています。

(a) 産業社会には、「労働経済学」、「職業キャリア論」などの科目があります。社会全体、市場および産業といった単位が対象です。労働市場における需要と供給の関係をはじめ、ワークキャリアを取り巻く社会経済関係にマクロ的にアプローチします。

(b) 集団・組織には、「戦略経営論Ⅰ・Ⅱ」、「経営組織論Ⅰ・Ⅱ」、「経営分析論Ⅰ・Ⅱ」などの科目があります。ワークキャリアを形成する場、すなわち企業という単位が対象です。企業はどのような仕組みや論理に基づいて経営されているかなど、ワークキャリアを形成する場である企業の経営について多角的に理解します。

(c) 個人・人間には、「産業・組織心理学Ⅰ・Ⅱ」、「人材育成論Ⅰ・Ⅱ」、「リーダーシップ論」などの科目があります。個人あるいは人間といった単位が対象です。働く人の感情、考え、振る舞いや、人間関係に焦点をあてます。ワークキャリアを形成する個人あるいは人間という単位にミクロ的にアプローチします。

(3) ライフキャリア領域

ライフキャリア領域の科目は、(a)多文化・グローバル社会、(b)文化マネジメントおよび(c)自己・他者・関係に分けられます。(a)多文化・グローバル社会はマクロ的な視点、(b)文化マネジメントはメゾ的な視点、(c)自己・他者・関係はミクロ的な視点、にそれぞれ基づく科目を配置しています。

(a) 多文化・グローバル社会には、「多文化社会論Ⅰ～Ⅲ」、「国際関係論Ⅰ・Ⅱ」、「国際地域研究Ⅰ・Ⅱ」などがあります。より広い範囲で、自己のキャリアと社会がつながりうることを知り、国際交流や文化比較なども視野に入れて学んでいきます。

(b) 文化マネジメントには、「アート・マネジメント論」、「ミュージアム概論」などの科目があります。文化やアートなどを通して、人びとや地域社会がいかにつながっていくのか、人びとの生活やまちづくりにおいて、文化活動の意味や位置づけはどういったものか、などをテーマとします。

(c) 自己・他者・関係には、「アイデンティティ論」、「家族論」、「コミュニティ社会論Ⅰ・Ⅱ」などの科目があります。自己が他者や社会とつながることについて、身近なコミュニティや家族の関係などを通して、キャリア形成や自己理解を視野に入れつつ学びます。

4 演習科目

1年次春学期には、本学部で学ぶための基礎的な能力（アカデミック・スキルの基礎）を修得するための少人数授業として「基礎ゼミ」を設置しています。この授業は、20名程度の人数で、各クラス共通した内容で行います。

1年次秋学期に「キャリア研究調査法入門」、2年次春学期に「キャリア研究調査法（質的調査）」、「キャリア研究調査法（量的調査）」を設置しています。これらは自らデータを収集して分析する能力を養うことを目的としており、2年次秋学期からの「演習」への橋渡しをする必修科目です。「キャリア研究調査法（質的調査）」と「キャリア研究調査法（量的調査）」は、2年次春学期にいずれかを履修することが必須ですが、その後もう一方を履修することも可能であり、推奨します。

さらに、「キャリア研究調査実習」を、3領域ごとに開設しています。本科目は、具体的な調査の主題をあらかじめ設定し、上記の「キャリア研究調査法」で修得した方法を実際使用し、自分で使えるレベルにまで調査能力を高めることを目的としています。自分の関心の強いテーマ、あるいは、「演習」のテーマに近いクラスを選択することにより調査能力のみならず、特定の専門分野への関心をも喚起するので、推奨します。

2年次秋学期から4年次秋学期までの「演習」は、学生が自らの専門性向上のために主体的に学び合う、少人数形式の授業です。担当教員により進め方は様々ですが、学生によるプレゼンテーションやディスカッションを中心として行われ、教員は助言や支援、コーディネーションなどの役割を担うのが主たる形式です。

1年次の「基礎ゼミ」とは異なり、授業内容は、各担当教員の専門分野に沿った、多様なものとなっています。学生が、自分の関心のある専門領域に関する理解を深め、研究を行うことを目的としています。担当教員により異なりますが、原則として、本学部での学びの集大成として、4年次には卒業研究として卒業論文の提出が求められます。

「演習」は、(1)発達・教育キャリア、(2)ビジネスキャリア、(3)ライフキャリアの三領域に担当教員が配分され、学生自身が希望する担当教員1名を選んで応募する形をとっていますが、少人数形式という科目の特性上、応募者が多い場合には教員による選考により履修者が決定されます。

また、3～4年次の科目として、これまでの学びの集大成として、(1)発達・教育キャリア、(2)ビジネスキャリア、(3)ライフキャリアの三領域を横断してキャリアデザインを研究する「キャリアデザイン学総合演習」を配置しています。キャリアデザイン学総合演習の履修は必須ではありませんが、本学部で培った幅広い視野でキャリアデザインを研究する総合性の高い科目として、意欲ある学生の履修を期待しています。

演習 履修決定の手続きとスケジュール（予定）

履修決定は5月～7月にかけて行います。詳細なスケジュールは後日掲示でお知らせします。

5 体験型選択必修科目

卒業要件には、卒業所用単位数を満たすだけでなく、それらの中に「体験型選択必修科目」が4単位以上含まれていることが謳われています。「体験型選択必修科目」は、ほぼすべての科目で教室を離れて人やコミュニティと直接かかわる活動を行います。「事前指導」や「I」を先に履修し単位を取得した後、「実習」や「II」を履修するもので、春学期と秋学期、ペアで履修することが必要です。また、教室外での実習を伴うため、授業に真摯に取り組む態度が求められます。

「体験型選択必修科目」には合わせて六つのペア科目があるので、前掲の「体験型選択必修科目」一覧表で確認してください。以下では、体験型科目の三つについて紹介します。

<キャリアサポート事前指導・キャリアサポート実習>

キャリアデザイン学部は自らのキャリアをデザインするとともに、人のキャリアデザインをサポートする能力を養成することを目指しています。そのため、このペア科目では、学内外でさまざまなサポート活動を行いながら、その活動を通じて学ぶという体験を中心にすすめています。そのサポート活動を実際に行うのが「キャリアサポート実習」ですが、そのための意識や知識、スキルなどをしっかりと身に付けるために事前に行うのが「キャリアサポート事前指導」です。

「キャリアサポート事前指導」では、人の話を「聴く」ことからはじめ、他者との円滑なコミュニケーションの方法を学びます。ディスカッションの進行役（ファシリテーター）を経験したり、他者のキャリア形成をサポートするためのプログラムを実際に作成したりします。必要に応じて学期の途中で実習を行うことがあります。

「キャリアサポート事前指導」での学びがあった上で、「キャリアサポート実習」では、実際にさまざまな現場でサポート活動を行います。主に高校に出かけ、高校生たちとともにキャリア教育や進路相談をテーマにしたワークショップを行います。この活動体験の成果はレポートにまとめて提出し、指導教員やキャリアアドバイザーからコメントをもらうほか、成果報告会で発表し、受講学生同士で互いにコメントするなどして振り返りを行います。

キャリアデザイン学部の専門科目には、活動しながら学ぶ授業が多く設けられています。それらに臨むためにも、ぜひこの科目を通じて、必要な力をつけてください。

<キャリア体験事前指導・キャリア体験学習／キャリア体験事前指導（国際）・キャリア体験学習（国際）>

これら2つの体験学習ペア科目は、国内外の一般企業（多種多様な業種）、非営利団体（NPO）、自治体その他の公共機関や各種業界団体等のさまざまな職場において、一定期間に実際の業務を体験すること（インターンシップ）、あるいはそういった機関で活動する人との課題解決学習や協働活動等を通じて、多様な文化や価値観に触れ、仕事に対する感覚や理解を涵養し、自分自身のキャリアデザインの一助とすることを目的としています。

キャリア体験学習は、主に企業における就業体験をメインに行います。企業や団体の現場で実際に働く経験を学ぶインターンシップ型とグループで企業の課題解決に取り組むプロジェクト型の授業があります。インターンシップ型のAコース（実習先を学部で用意する）とBコース（実習先を履修生が自主開拓する）、プロジェクト型のCコース（中小製造業との産学連携活動として実習する）の3つのコースがあります。

キャリア体験学習（国際）では、ベトナム（ホーチミン）、台湾（台北）でのキャリア体験学習を実施します。訪問する国の実情に合わせて、インターンシップだけではなく、文化体験や企業訪問、現地の大学生との協働活動な

ど、多様なかたちでキャリア体験学習を実施します。

実習が中心となるのはもちろんですが、実習先の概要や仕事の中身などについて各自で調べ、学習することも不可欠です。また実習の成果については、公開でプレゼンテーションを行ったり、報告書にまとめて公表したりします。それぞれのクラスの特徴をよく理解したうえで応募してください。

地域学習支援Ⅰ・Ⅱの履修と「地域学習支援士」の認定について

(1) 地域学習支援Ⅰ・Ⅱ

この科目は、現代の地域社会でニーズが高まっている地域学習支援の方法について学び、多様な職業分野で期待されている学習支援者としての専門性を習得することを目的としています。具体的には、地域づくり学習、ユースワーク、多文化理解、コミュニティ・メディア、地域文化創造、フィールドミュージアムなどの学習活動分野のプログラム編成、組織運営マネジメントなどについて理論面と実際面から学び、コーディネーターとして地域社会のネットワークの形成や地域活性化に寄与する力を形成することをめざします。地域学習支援Ⅱでは、それぞれの分野ごとに専門の教員が指導をおこないます。

地域学習支援のマネジメントやコーディネーターの専門性は、国・自治体、公共機関の職員はもとより、地場産業や観光・サービス関連産業の事業経営、一般企業の地域貢献、経済団体連合会や商工会議所などの地域振興事業、自立支援・地域づくり・文化・環境分野などのNPO市民活動、グローバルな交流にとりくむ国際機関・NGO活動などにおいて幅広く求められています。地域学習支援に関わる専門性を身につけて多様な職業分野への就業力を高めるとともに、NPOやボランティア活動などにも参加して、勤労者・市民として社会を担う実践的な知識や行動力を培うことを目的とします。

この科目は学部認定資格「地域学習支援士」資格を取得する場合には必修です。もちろん、資格取得に関係なく、体験型選択必修科目として履修することができます。

(2) 学部独自の認定資格「地域学習支援士」

別表に示すように、地域学習支援Ⅰ・Ⅱ合わせて4単位と選択必修科目8単位及び選択科目18単位の合計30単位を履修した学生には、4年次の卒業単位認定の時期に、所定の申請手続きを経て、学部から「地域学習支援士」資格取得の認定証が交付されます。この資格の取得を履歴書などに明記することができます。

本学部では教職・社会教育専門職などの国家資格を取得することができますが、地域学習支援士はこれらに加え、より多様な職業分野における新たな現代的、社会的ニーズに対して、「学びを通じて人を支援する」専門性を身につけていることを学部として認定するものです。

別表 地域学習支援士資格認定科目

<p>共通必修科目 (4単位)</p>	<p>地域学習支援Ⅰ 地域学習支援Ⅱ</p>
<p>選択必修科目 (8単位)</p>	<p>生涯学習論Ⅲ・Ⅳ（成人教育論Ⅰ・Ⅱ） 学校論Ⅲ（キャリア教育）・Ⅳ（キャリア教育） 多文化教育Ⅰ・Ⅱ キャリアカウンセリングⅠ・Ⅱ メディア教育論Ⅰ・Ⅱ アート・マネジメント論 文化経営論 メディアリテラシー実習Ⅰ・Ⅱ ミュージアム概論 ミュージアム経営論</p>
<p>選択科目 (18単位)</p>	<p>生涯学習論Ⅰ・Ⅱ NPO論 ミュージアム教育論 メディア文化論 多文化社会論Ⅲ 情報メディアの活用 ファシリテーション論 図書館情報資源概論・図書館情報資源特論 産業文化論 文化マーケティング論 家族論 若者の自立支援 世代間交流論 職業選択論Ⅰ・Ⅱ アジア社会論Ⅰ・Ⅱ アントレプレナーシップ論Ⅰ・Ⅱ シティズンシップ論</p>

6 「会計関連科目」履修上の注意

－ 会計プロフェッションを目指す人たちに －

公認会計士、税理士及び国税専門官等、会計に関する高度な専門知識を核として、専門的キャリアを形成していくことができる職業があります。これらの職業は、「会計プロフェッション」と称され、とくに公認会計士及び税理士は、司法試験と並ぶ、難関国家試験として知られており、当該資格取得を目指す人は、大学入学後、早い段階から、受験勉強に取り組む必要があります。

本学部には、次の会計関連科目が設置されていますが、国家試験を目指す人たちにとっては決して十分ではありません。

● キャリアデザイン学部主催の会計関連科目

企業会計論（簿記と会計Ⅰ）	主に2年生向け
経営分析論Ⅰ・Ⅱ（会計とファイナンスⅠ・Ⅱ）	2年生以上向け

そこで、本学部のカリキュラムでは、主に国家試験志望者を支援するため、次の経営学部主催科目が履修できるようになっています。国家試験志望者以外でも、興味があれば受講可能ですが、次のようにこれらの履修には一定の基礎知識が必要ですので、注意してください。

● 経営学部主催の会計関連科目（選択科目）

科目名	留意事項・内容
財務会計論Ⅰ・Ⅱ	・財務会計及び企業開示の理論と制度
監査論Ⅰ・Ⅱ	・「財務会計論Ⅰ・Ⅱ」を履修済、または同時履修することが望ましい ・財務諸表監査の理論と制度
税務会計論Ⅰ・Ⅱ	・「財務会計論Ⅰ・Ⅱ」を履修済、または同時履修することが望ましい ・税務会計の理論と制度
管理会計論Ⅰ・Ⅱ	・「原価計算論Ⅰ・Ⅱ」を履修済、または同時履修することが望ましい ・管理会計の理論と方法
原価計算論Ⅰ・Ⅱ	・原価計算の理論と方法
経営分析Ⅰ・Ⅱ	・財務諸表分析を中心とする企業分析の理論と方法

※ 上記全科目とも、履修以前に、「企業会計論（簿記と会計Ⅰ）」（キャリアデザイン学部主催科目）を履修済か、あるいは日本商工会議所簿記検定3級以上の能力をもっている必要がある。

カリキュラム上、これらの科目群は「関連科目」として位置づけられ、正規の科目として単位認定されますが、卒業必要単位数が、「ILAC科目／基礎科目」、「基幹科目」及び「展開科目」等に対して規定されていますので、経営学部主催科目を多くとっても、事実上、その一部が卒業必要単位には算入されない結果になることに留意しておいてください。この点について、詳しくは、この「履修の手引き」の「卒業所要単位」の項をお読みください。

なお、公認会計士及び税理士試験は、最も難関な国家試験の1つですから、大学の講義のみでは不十分というのが実態であり、法政大学では、高度会計人育成センター（HAPP: Hosei Accounting Profession Program）が支援に当たっています。受験希望者はまずは本センター主催の説明会に参加してください。また、大学院に進学すると、一部科目が免除されるなど、いくつかの資格取得方法があります。当該資格取得に関するさまざまな疑問・相談は、本学部教員の中野（Email: tnakano@hosei.ac.jp）まで問い合わせてください。

7 自由科目

「他学部公開科目」「ESOP科目」「ERP科目」「グローバル・オープン科目」「国際インターン・国際ボランティア」「短期語学研修」が該当します。卒業までに合計16単位を上限として履修可能です。ただし受講資格と単位認定は以下のとおりそれぞれ異なりますので、履修の際は十分注意してください。また、自由科目として修得した単位は Semester・年間の履修登録上限単位数の対象となります（但し、インターン・ボランティア、短期語学研修は対象外）。

(1) 他学部公開科目

受講資格は2・3・4年次生に限られます。詳細は、Webシラバス（講義概要）を参照してください。

(2) ESOP科目

全学年受講が可能です。本人申請により単位認定を行います。海外から受け入れた交換留学生用の、日本という国に関わるテーマをとりあげた英語の講義・ゼミです。履修要綱は学部窓口にて配布します。開講科目など詳しくはグローバル教育センター事務部国際交流課（E-mail：ic@hosei.ac.jp、電話番号：03-3264-9402）にお問い合わせください。

(3) ERP科目

全学年受講が可能です。本人申請により単位認定を行います。英語による少人数（10名～20名）・双方向授業を授業形態として実施されている、英語4技能（listening、speaking、reading、writing）の養成とその統合を目的とした授業です。卒業所要単位として単位修得することを希望する場合、履修登録時に指定すると自由科目として履修できます。履修要綱はグローバル教育センターのホームページで確認してください。開講科目等、詳しくはグローバル教育センター事務部グローバルラーニング課（E-mail：global@hosei.ac.jp、電話番号：03-3264-4088）にお問い合わせください。

(4) グローバル・オープン科目

全学年受講できます。法政大学が「世界のどこでも生き抜く力を身につけたグローバル社会のリーダー」を育成するために全学で開講されている学部横断型の科目群です。詳細は、グローバル教育センターのホームページで確認してください。

(5) インターン・ボランティア

全学年受講が可能です。本人申請により単位認定を行います。

グローバル教育センターが主催している「国際インターンシップ」「国際ボランティア」プログラムです。実施されるプログラムは実施期間により異なります。詳細はグローバル教育センターのホームページで確認してください。

(6) 短期語学研修

全学年受講が可能です。本人申請により単位認定を行います。

グローバル教育センターが主催している集中語学研修です。実施されるプログラムは実施期間により異なります。詳細はグローバル教育センターのホームページで確認してください。

専科目一覧

専門科目 カリキュラム表 (2017年度以降入学者用)

	科目ナンバリング	科目名	領域	区分	受講学年	単位数	必要数	備考
基幹科目	必修	BSP100MA	キャリアデザイン学入門		基幹必修	1～2年	2	2単位
		BSP100MA	キャリア研究調査法入門		基幹必修	1～2年	2	2単位
	選択	BSP200MA	キャリア研究調査法(質的調査)		基幹スキル	2年～	2	2単位以上
	必修	BSP200MA	キャリア研究調査法(量的調査)		基幹スキル	2年～	2	
	選択必修	BSP100MA	発達・教育キャリア入門A	発達・教育キャリア	基幹入門	1年～	2	一つの領域から6単位以上
		BSP100MA	発達・教育キャリア入門B		基幹入門	1年～	2	
		BSP100MA	発達・教育キャリア入門C(生涯学習入門Ⅰ)		基幹入門	1年～	2	
		BSP100MA	発達・教育キャリア入門D(生涯学習入門Ⅱ)		基幹入門	1年～	2	
		BSP100MA	ビジネスキャリア入門A	ビジネスキャリア	基幹入門	1年～	2	
		BSP100MA	ビジネスキャリア入門B		基幹入門	1年～	2	
		BSP100MA	ビジネスキャリア入門C		基幹入門	1年～	2	
		BSP100MA	ビジネスキャリア入門D		基幹入門	1年～	2	
		BSP100MA	ライフキャリア入門A	ライフキャリア	基幹入門	1年～	2	
		BSP100MA	ライフキャリア入門B		基幹入門	1年～	2	
		BSP100MA	ライフキャリア入門C		基幹入門	1年～	2	
		BSP100MA	ライフキャリア入門D		基幹入門	1年～	2	
	選択	CAR100MA	労働法		基幹共通	1年～	2	20単位以上
		BSP100MA	ファシリテーション論		基幹共通	1年～	2	
BSP100MA		若者の自立支援		基幹共通	1年～	2		
CAR100MA		職業選択論Ⅰ		基幹共通	1年～	2		
CAR100MA		ライフコース論		基幹共通	1年～	2		
CAR100MA		生活設計論Ⅰ(社会保障)		基幹共通	1年～	2		
CAR100MA		生活設計論Ⅱ(生活設計)		基幹共通	1年～	2		
CAR100MA		キャリアモデル・ケーススタディ		基幹共通	1年～	2		
展開科目	選択必修	BSP200MA	キャリアサポート事前指導		★展開体験	2年～	2	1ペア4単位以上
		BSP200MA	キャリアサポート実習		★展開体験	2年～	2	
		BSP200MA	多文化教育Ⅰ		★展開体験	2年～	2	
		BSP200MA	多文化教育Ⅱ		★展開体験	2年～	2	
		BSP200MA	キャリア体験事前指導		★展開体験	2年～	2	
		BSP200MA	キャリア体験学習		★展開体験	2年～	2	
		BSP200MA	キャリア体験事前指導(国際)		★展開体験	2年～	2	
		BSP200MA	キャリア体験学習(国際)		★展開体験	2年～	2	
		BSP200MA	メディアリテラシー実習Ⅰ		★展開体験	2年～	2	
		BSP200MA	メディアリテラシー実習Ⅱ		★展開体験	2年～	2	
		BSP200MA	地域学習支援Ⅰ		★展開体験	2年～	2	
		BSP200MA	地域学習支援Ⅱ		★展開体験	2年～	2	
	選択必修	EDU200MA	キャリア研究調査実習A		展開調査	2年～	2	一つの領域から36単位以上
		EDU200MA	キャリア研究調査実習B		展開調査	2年～	2	
		EDU200MA	外書講読A(発達・教育)		展開外書	2年～	2	
		EDU200MA	外書講読B(発達・教育)		展開外書	2年～	2	
		PSY200MA	生涯発達心理学Ⅰ		発達と学習	2年～	2	
		PSY200MA	生涯発達心理学Ⅱ		発達と学習	2年～	2	
PSY200MA		臨床教育相談論Ⅰ		発達と学習	2年～	2		
PSY200MA		臨床教育相談論Ⅱ		発達と学習	2年～	2		
PSY200MA		キャリアカウンセリングⅠ		発達と学習	2年～	2		
PSY200MA		キャリアカウンセリングⅡ		発達と学習	2年～	2		
PSY200MA		キャリアカウンセリングⅢ(ケーススタディ)		発達と学習	2年～	2		
PSY200MA		教育相談		発達と学習	2年～	2		
PSY200MA		教育心理学	発達・教育キャリア	発達と学習	2年～	2		
EDU200MA		学校論Ⅰ(キャリア形成)		学校教育と地域学習	2年～	2		
EDU200MA		学校論Ⅱ(キャリア形成)		学校教育と地域学習	2年～	2		
EDU200MA		学校論Ⅲ(キャリア教育)		学校教育と地域学習	2年～	2		
EDU200MA		学校論Ⅳ(キャリア教育)		学校教育と地域学習	2年～	2		
EDU200MA		生涯学習論Ⅰ(生涯学習支援論Ⅰ)		学校教育と地域学習	2年～	2		
EDU200MA		生涯学習論Ⅱ(生涯学習支援論Ⅱ)		学校教育と地域学習	2年～	2		
FRI200MA		図書館情報学概論Ⅰ		学校教育と地域学習	2年～	2		
FRI200MA	図書館情報学概論Ⅱ		学校教育と地域学習	2年～	2			
EDU200MA	メディア教育論Ⅰ		学校教育と地域学習	2年～	2			
EDU200MA	メディア教育論Ⅱ		学校教育と地域学習	2年～	2			
EDU200MA	教育マネジメントⅠ		学校教育と地域学習	2年～	2			
EDU200MA	教育マネジメントⅡ		学校教育と地域学習	2年～	2			

* 1 選択する領域は、* 3と同じ領域でなければなりません。

* 2 ★印の科目は前半科目(Ⅰ、事前指導等)の単位を修得した場合、ペアとなる後半科目(Ⅱ、体験等)の履修登録が可能です。

* 3 選択する領域は、* 1と同じ領域でなければなりません。

	科目ナンバリング	科目名	領域	区分	受講学年	単位数	必要数	備考
展開科目	選択必修	EDU200MA	教育政策	発達・教育キャリア	教育と社会	2年～	2	基幹科目・展開科目 合計72単位以上 展開科目から52単位以上 *3 一つの領域から36単位以上
		EDU200MA	現代教育思想		教育と社会	2年～	2	
		EDU200MA	生涯学習論Ⅲ(成人教育論Ⅰ)		教育と社会	2年～	2	
		EDU200MA	生涯学習論Ⅳ(成人教育論Ⅱ)		教育と社会	2年～	2	
		HIS200MA	学習の社会史A		教育と社会	2年～	2	
		HIS200MA	学習の社会史B		教育と社会	2年～	2	
		EDU200MA	教育社会学Ⅰ		教育と社会	2年～	2	
		EDU200MA	教育社会学Ⅱ		教育と社会	2年～	2	
		EDU200MA	教育経済学		教育と社会	2年～	2	
		MAN200MA	キャリア研究調査実習C		ビジネスキャリア	展開調査	2年～	
		MAN200MA	キャリア研究調査実習D	展開調査		2年～	2	
		MAN200MA	外書講読A(ビジネス)	個人・人間		2年～	2	
		MAN200MA	外書講読B(ビジネス)	個人・人間		2年～	2	
		MAN200MA	職業選択論Ⅱ	個人・人間		2年～	2	
		MAN200MA	人材育成論Ⅰ	個人・人間		2年～	2	
		MAN200MA	人材育成論Ⅱ	個人・人間		2年～	2	
		MAN200MA	産業・組織心理学Ⅰ	個人・人間		2年～	2	
		MAN200MA	産業・組織心理学Ⅱ	個人・人間		2年～	2	
		MAN200MA	キャリア開発論	個人・人間		2年～	2	
		MAN200MA	リーダーシップ論	個人・人間		2年～	2	
		MAN200MA	経営統計論A(心理データ)	個人・人間		2年～	2	
		MAN200MA	企業会計論	集団・組織		2年～	2	
		MAN200MA	経営統計論B(企業データ)	集団・組織		2年～	2	
		MAN200MA	経営組織論Ⅰ	集団・組織		2年～	2	
		MAN200MA	経営組織論Ⅱ	集団・組織		2年～	2	
		MAN200MA	戦略経営論Ⅰ	集団・組織		2年～	2	
		MAN200MA	戦略経営論Ⅱ	集団・組織		2年～	2	
		MAN200MA	経営分析論Ⅰ	集団・組織		2年～	2	
		MAN200MA	経営分析論Ⅱ	集団・組織		2年～	2	
		MAN200MA	アントレプレナーシップ論Ⅰ	集団・組織		2年～	2	
		MAN200MA	アントレプレナーシップ論Ⅱ	集団・組織		2年～	2	
		MAN200MA	職業キャリア論	産業社会		2年～	2	
		ECN200MA	労働経済学	産業社会		2年～	2	
		MAN200MA	シティズンシップ論	産業社会		2年～	2	
		MAN200MA	生産システム論	産業社会		2年～	2	
		MAN200MA	国際経営論	産業社会		2年～	2	
		ECN200MA	日本経済論	産業社会		2年～	2	
		ECN200MA	産業論	産業社会		2年～	2	
		MAN200MA	広告ビジネス論	産業社会		2年～	2	
		MAN200MA	マーケティング論	産業社会	2年～	2		
		MAN200MA	流通・マーケティング戦略論	産業社会	2年～	2		
		MAN200MA	流通・サービスビジネス論	産業社会	2年～	2		
		MAN200MA	就業機会発見実務	産業社会	2年～	2		
		SOC200MA	キャリア研究調査実習E	ライフキャリア	展開調査	2年～	2	
		SOC200MA	キャリア研究調査実習F		展開調査	2年～	2	
		SOC200MA	外書講読A(ライフ)		自己・他者・関係	2年～	2	
		SOC200MA	外書講読B(ライフ)		自己・他者・関係	2年～	2	
		SOC200MA	コミュニティ社会論Ⅰ		自己・他者・関係	2年～	2	
		SOC200MA	コミュニティ社会論Ⅱ		自己・他者・関係	2年～	2	
		SOC200MA	家族論		自己・他者・関係	2年～	2	
		SOC200MA	若者文化論		自己・他者・関係	2年～	2	
		SOC200MA	世代間交流論		自己・他者・関係	2年～	2	
SOC200MA	身体表現論	自己・他者・関係	2年～		2			
SOC200MA	地域文化論	自己・他者・関係	2年～		2			
SOC200MA	アイデンティティ論	自己・他者・関係	2年～		2			
SOC200MA	余暇集団論	自己・他者・関係	2年～		2			
SOC200MA	NPO論	文化マネジメント	2年～		2			
SOC200MA	公共サービス論	文化マネジメント	2年～		2			
SOC200MA	アート・マネジメント論	文化マネジメント	2年～		2			
SOC200MA	文化経営論	文化マネジメント	2年～		2			
SOC200MA	メディア文化論	文化マネジメント	2年～		2			
SOC200MA	文化マーケティング論	文化マネジメント	2年～		2			
SOC200MA	ブランド創造論	文化マネジメント	2年～		2			
SOC200MA	産業文化論	文化マネジメント	2年～		2			
CUM200MA	ミュージアム概論	文化マネジメント	2年～		2			
CUM200MA	ミュージアム経営論	文化マネジメント	2年～		2			
SOC200MA	多文化社会論Ⅰ	多文化・グローバル社会	2年～		2			
SOC200MA	多文化社会論Ⅱ	多文化・グローバル社会	2年～		2			

* 3 選択する領域は、* 1と同じ領域でなければなりません。

* 4 試験・休講・教室変更等の諸連絡については各学部の掲示板を見ること。

		科目ナンバリング	科目名	領域	区分	受講学年	単位数	必要数		備考			
展開科目	選択必修	SOC200MA	多文化社会論Ⅲ	ライフキャリア	多文化・グローバル社会	2年～	2	一つの領域から36単位以上	展開科目から52単位以上				
		ARSx200MA	アジア社会論Ⅰ		多文化・グローバル社会	2年～	2						
		ARSx200MA	アジア社会論Ⅱ		多文化・グローバル社会	2年～	2						
		ARSx200MA	国際関係論Ⅰ		多文化・グローバル社会	2年～	2						
		ARSx200MA	国際関係論Ⅱ		多文化・グローバル社会	2年～	2						
		ARSx200MA	国際地域研究Ⅰ		多文化・グローバル社会	2年～	2						
		ARSx200MA	国際地域研究Ⅱ		多文化・グローバル社会	2年～	2						
	総合	CAR200MA	就業機会とキャリア			2年～	2						2021休講
		CAR200MA	職業能力ベーシックスキルⅠ			2年～	2						
CAR200MA		職業能力ベーシックスキルⅡ			2年～	2							
演習科目	選択	EDU200MA	演習(発達・教育)			2年～	各2			2年秋学期より履修可			
		MAN200MA	演習(ビジネス)			2年～	各2			10単位まで履修可			
		SOC200MA	演習(ライフ)			2年～	各2			*3			
		EDU400MA	卒業論文(発達・教育)			4年	4						
		MAN400MA	卒業論文(ビジネス)			4年	4			*3			
		SOC400MA	卒業論文(ライフ)			4年	4						
		OTR400MA	キャリアデザイン学総合演習			3～4年	2						
関連科目	選択	LANe100MA	国際コミュニケーション語学(英語Ⅰ)			1年～	1			外国語科目英語(必修)に充当することはできない。			
		LANe100MA	国際コミュニケーション語学(英語Ⅱ)			1年～	1						
		LANe100MA	国際コミュニケーション語学(英語Ⅲ)			1年～	1						
		LANe100MA	国際コミュニケーション語学(英語Ⅳ)			1年～	1						
		LANe100MA	国際コミュニケーション語学(英語Ⅴ)			1年～	1						
		LANe200MA	スタディ・アブロードⅠ			2年～	4						
		LANe200MA	スタディ・アブロードⅡ			2年～	4						
		LANe200MA	スタディ・アブロードⅢ			2年～	4						
		LANe200MA	スタディ・アブロードⅣ			2年～	4						
		CAR200MA	就業機会とキャリア特講			2年～	2						
		CAR200MA	地域活性論			2年～	4			2021年度休講			
		CAR300MA	就業応用力養成Ⅰ			3年～	2						
		CAR300MA	就業応用力養成Ⅱ			3年～	2						
		MAN300MA	財務会計論Ⅰ			3年～	2						
		MAN300MA	財務会計論Ⅱ			3年～	2						
		MAN300MA	監査論Ⅰ			3年～	2						
		MAN300MA	監査論Ⅱ			3年～	2						
		MAN300MA	税務会計論Ⅰ			3年～	2						
		MAN300MA	税務会計論Ⅱ			3年～	2						
		MAN300MA	管理会計論Ⅰ			3年～	2						
		MAN300MA	管理会計論Ⅱ			3年～	2						
		MAN300MA	原価計算論Ⅰ			3年～	2						
		MAN300MA	原価計算論Ⅱ			3年～	2						
		MAN300MA	経営分析Ⅰ			3年～	2						
		MAN300MA	経営分析Ⅱ			3年～	2						
		SOC100MA	異文化適応論			1年～	2				国際文化学部主催科目 *4		
		SOC200MA	市民社会と政治			1年～	2				人間環境学部主催科目 *4		
		CAR200MA	労働環境法			2年～	2				人間環境学部主催科目 *4		

*3 選択する領域は、*1と同じ領域でなければなりません。

*4 試験・休講・教室変更等の諸連絡については各学部の掲示板を見ること。

	科目ナンバリング	科目名	領域	区分	受講学年	単位数	必要数	備考
関連科目	CAR300MA	社会貢献・課題解決教育			3年～	4		2021年度休講・2022年度以降閉講
	EDU100MA	教職入門			1年～	2		教職課程「教職に関する科目」
	EDU100MA	教育原理			1年～	2		
	EDU100MA	教育の制度・経営			1年～	2		教職課程の履修方法やシラバスは別冊「教職課程履修要綱」を見ること。
	EDU200MA	教育課程論			2年～	2		
	EDU200MA	教育方法論			2年～	2		
	FRI200MA	図書館演習			2年～	4		資格課程科目
	FRI200MA	図書館サービス概論			2年～	2		
	FRI200MA	情報サービス演習			2年～	4		各資格課程（図書館司書・司書教諭、博物館学芸員、社会教育主事）の履修方法やシラバスは別冊「資格関係科目履修要綱」を見ること。
	FRI200MA	図書館情報資源概論			2年～	2		
	FRI200MA	図書館情報資源特論			2年～	2		
	FRI200MA	読書と豊かな人間性			2年～	2		
	FRI200MA	情報メディアの活用			2年～	2		
	CUM100MA	ミュージアム資料論			1年～	2		
	CUM100MA	ミュージアム教育論			1年～	2		
	EDU200MA	社会教育演習			2年～	4		
	EDU200MA	現代生活・文化と社会教育Ⅰ			2年～	2		
EDU200MA	現代生活・文化と社会教育Ⅱ			2年～	2			
自由科目	-	他学部公開科目			2年～			16単位まで履修可
	-	ESOP科目 * 5			1年～			
	-	ERP科目 * 5			1年～			
	-	グローバル・オープン科目			1年～			
	-	「国際インターン」「国際ボランティア」* 5 * 6			1年～	各1		
	-	短期語学研修 * 5 * 6			1年～	2		

* 5 グローバル教育センター設置科目です。参加後に必要手続きを経て単位認定を行います。

* 6 履修登録上限単位数の対象外となります。

他学部公開科目履修制度

他学部公開科目について

2・3・4年生のみ対象

法政大学では、幅広い視野と柔軟な思考力を兼ね備えた人材の育成を目指し、多くの学部で、専門教育科目を他学部公開し、卒業所要単位として認定する「公開科目」制度を設けています。500近い科目が公開科目になっており、「英語で行われる授業で集中的に英語力を身につける」、「専門家の講義により仕事の最前線を知る」、「国際化」「まちづくり」など興味のあるテーマについて広く学ぶなど、学部横断的に様々な角度から学習することができます。

(1) 公開科目の概要

公開科目の履修については、以下で内容を確認してください。なお、「成績優秀者の他学部科目履修制度」は公開科目とは別の制度ですので、概要、履修可能科目は、制度該当者に配付する履修の手引きで確認してください。

a. 公開科目実施学部

市ヶ谷キャンパス 法学部、文学部、経営学部、国際文化学部、人間環境学部、
キャリアデザイン学部、GIS（グローバル教養学部）、デザイン工学部
多摩キャンパス 経済学部、社会学部、現代福祉学部、スポーツ健康学部
小金井キャンパス 情報科学部、生命科学部

b. 履修年次

2～4年次とし、かつ当該科目につき主催学部における配当年次以上とします。科目によっては、3年次からの履修の場合もあります。

c. 登録単位の上限と単位の扱い

公開科目の修得単位は卒業所要単位として決められた単位数まで加算されます。履修できる単位数や卒業進級の要件については、必ず各学部の「履修の手引き（履修要綱）」で確認してください。履修登録時には他の専門科目と同様に年間履修の上限単位数に含まれます。

d. 登録方法

他の科目と同じように履修登録してください。

e. 注意事項

- ・ 開講曜日・時限・教室等に変更がある場合や、レポート提出、試験等の情報は、学習支援システムやWeb掲示板等を通じてお知らせしますので、ご注意ください。
- ・ 他キャンパスの授業を受講する場合には、同一曜日に自学部の授業を受講できない等制限がある場合があるため、各学部の『履修の手引き（履修要綱）』で確認してください。
- ・ 他キャンパスの授業を履修するときは、通学時間を考慮して時間割を組んでください。

(2) 公開科目一覧について

本制度にて履修できる科目については、各学部配布の「他学部公開科目時間割」、またはWebシラバスにて確認してください。

法政ポータルサイト（Hoppii） → 【Webシラバス】 → 公開科目を参照してください。

(3) 科目別の注意事項

履修できる学部が限定されている等、履修上の注意が必要な科目がありますので、「他学部公開科目時間割」で確認してください。

a. 法学部・文学部・経営学部・国際文化学部所属の学生の履修上の注意

市ヶ谷リベラルアーツセンター主催科目については、公開科目ではなく、総合科目として履修登録をしてください。

b. 人間環境学部・キャリアデザイン学部所属の学生の履修上の注意

人間環境学部・キャリアデザイン学部生のみ履修可能な科目があります。詳しくは、「他学部公開科目時間割」を確認してください。

c. キャリアデザイン学部主催の公開科目履修上の注意

科目により人数制限・選抜を行う場合があります。初回の授業には必ず出席してください。特に春学期に秋学期科目を履修登録しても、履修が出来ない場合がありますので注意してください。

(4) GIS主催の公開科目履修上の注意

a. 受講資格

GIS主催科目はすべて英語で行われますので、以下のいずれかひとつに準ずる英語力が必要となります。

- ・ TOEFL® iBT 80点以上
- ・ IELTS (Academic Module) band 6.0以上
- ・ TOEIC® 860点以上
- ・ 実用英語技能検定 準1級以上かつCSEスコア2450点以上

※履修可能年次が、2年次または3年次以上の科目は、より高いスコアが要求される場合があります。

b. 履修上の注意

- ・ 講義のテーマについてある程度の予備知識を必要とする科目もあります。詳しくはシラバスを参照してください。
- ・ 少人数制のため、科目により人数制限・選抜があります。初回の授業には必ず出席し、指示を仰いでください。特に春学期に秋学期科目を履修登録しても、履修ができない場合がありますので注意してください。

(5) 市ヶ谷リベラルアーツセンター主催科目の履修上の注意

2017年度以前に修得した科目によって、履修できない科目があります。詳しくは、「他学部公開科目時間割」を確認してください。科目により人数制限・選抜があります。

春・秋学期科目ともに、4月の春学期授業開始時に担当教員から受講許可を得てください。秋学期科目（B、II等）のみを履修する場合も、同名の春学期科目（A、I等）の授業開始時（4月）に出席し、受講許可を得てから履修登録を行ってください。

受講許可を得る時には、①春学期と秋学期ともに履修、②春学期のみ履修、③秋学期のみ履修のうち、どのパターンで履修するか、4月の春学期授業開始時に担当教員に申し出てください。

選抜結果については、本学ポータルサイトHoppiiからアクセスできるWeb掲示板で発表します。

法政ポータルサイト（Hoppii）はこちら⇒
Hosei portal to pick up information



成績優秀者の他学部科目履修制度

この制度は、2年生以上の前年度学業成績優秀者に対して、専攻分野を超えて広い分野での学習機会を提供し、学生のみなさんの勉学意欲の向上を図ることを目的とした制度です（2014年度から導入）。この制度により、従来の公開科目の枠を超えた多様な科目が履修できるようになりますので、学生のみなさんの積極的な活用を望みます。参加学部は全学部全学科です。詳細は、対象となる学生に別途ご案内します。

法政ポータルサイト（Hoppii） → 【教育開発支援機構】 → 成績優秀者の他学部科目履修制度を参照してください。

グローバル・オープン科目

グローバル・オープン科目は、法政大学が「世界のどこでも生き抜く力を身につけたグローバル社会のリーダー」を育成するために2016年度から全学で開講されている学部横断型の公開科目群です。次のような特長があります。

- ・すべての科目は英語を教授言語としています。
- ・1年次生から履修できる科目があります。
- ・多くの科目が少人数で開講されます。
- ・一定の単位修得で「修了証」が発行されます。
- ・科目は全部で6つの領域に分類されています。

（1）6つの領域について

◆「ビジネス&マネジメント」領域

多様なグローバル・ビジネスの現状に触れ、社会に貢献してゆくための基盤能力を養い、海外進出やグローバルブランド構築を考察する機会を提供します。中級・上級科目を進むに従い、ビジネスモデリングやビジネス実践に関するスキルも学べる、卒業後のキャリア形成に役立つ科目を用意しています。

◆「ビジネス&エコノミクス」領域

経済学のコンセプトを用いて、グローバルに展開する企業活動の現状や、国際競争力を持ったビジネスの可能性について考える力を身につけます。世界経済の中の日本について歴史的な視点も入れながら学ぶとともに、ビジネス・コミュニケーションの実践的な基礎、さらに経済学や国際経済の基礎理論とともに世界の地域研究を学びます。

◆「国際関係」領域

国際社会の仕組みや諸問題に対する理解を深めるために、伝統的な国際政治学だけでなく、国際政治経済学や国際法学、外交政策論、政治学、社会学等、様々な視点から学際的研究を行います。

◆「社会と文化」領域

所属学部の専門分野以外にも目をむけ、グローバルリーダーとして活躍する人材に必要なとされる知識をより広く学び、異文化理解、文学、歴史、思想、宗教、心理学、言語学などの学びを通して、文化や価値観の相違の認識を培う場を提供しています。

◆「実践英語」領域

学部を越えて、より実践的な英語能力を磨くことのできる場を提供します。少人数で開講される授業を通じて、プレゼンテーションや語彙力の強化をはじめ、英語によるコミュニケーション能力をさらに身につけたい方にお勧めします。

◆「科学・技術」領域

変化の激しいグローバル化に対応し、理工系学部在籍する学生が、世界を舞台に活躍できる基礎を築くための科目群を用意し、英語の講義受講によるグローバル体験とともに、横断的に専攻以外の理工学分野の概要を知り、幅広い知識の習得、問題解決能力を涵養することをめざします。

（2）履修登録方法について

グローバル・オープン科目一覧から、受講希望科目を選択したら、初回授業に必ず参加し、担当教員から履修許可を受けてください。履修登録の際は、各学部の「履修の手引き（履修要項）」で内容を確認し、他の科目と同じように定められた期間内に履修登録してください。

(3) 登録単位の上限と単位の扱いについて

グローバル・オープン科目の修得単位は多くの学部で卒業所要単位として決められた単位数まで加算されます。単位認定に関する詳細や卒業進級の要件については、必ず各学部の「履修の手引き（履修要項）」等で確認してください。履修登録時には他の専門科目と同様に年間履修の上限単位数に含まれます。

(4) 履修上の注意

- ・初回授業に必ず参加し、担当教員から履修許可を受けてください。定員のある授業では、選抜が行われる場合があります。
- ・講義のテーマについてある程度の予備知識を必要とする科目もあります。初回授業前にシラバスを必ず読んで授業に臨んでください。
- ・開講曜日・時限・教室等に変更がある場合や、レポート提出、試験等の情報は、主催学部等のWeb掲示板に掲載されますので、ご注意ください。
- ・開講校地は、原則として、各科目の主催学部等の所在地となります。特にキャンパスの間違いのないよう留意して計画を立ててください。
- ・他キャンパスの授業を受講する場合には、同一曜日に自学部の授業を受講できないなど制限がある場合があるため、各学部の履修の手引き等で事前に確認してください。
- ・市ヶ谷リベラルアーツセンター主催科目の履修について、法学部・文学部・経営学部・国際文化学部・人間環境学部・キャリアデザイン学部の学生は、単位認定先について必ず本学ポータルサイトHoppiiからアクセスできるWeb掲示板およびグローバル・オープン科目講義概要（シラバス）を確認してください。
- ・秋学期科目の一部には、春学期に履修登録の意思を教員に表明し、履修許可を予め得る必要のある科目があります。秋学期科目の履修許可を得ないで春学期に登録した場合、履修を取り消される場合がありますので、十分に注意してください。
- ・秋学期が最初のセメスターとなる秋季入学生や交換留学生は、その年度の春学期に履修することが前提となる科目があり、第一セメスターに履修できない場合があります。
- ・一定の英語能力基準が必要な科目がありますので、グローバル・オープン科目一覧で確認してください。

(5) グローバル・オープン科目一覧について

グローバル・オープン科目授業については、Webシラバスおよびグローバル教育センターウェブサイトにて確認してください。

<https://www.global.hosei.ac.jp>

(Webシラバスでの確認方法)

Webシラバスにアクセス

<https://syllabus.hosei.ac.jp/web/show.php>

「グローバル・オープン科目（Global Open Program）」を選択 もしくは
科目検索画面のグローバル・オープン科目フィールドで「○」を選択

* 授業時間・教室については、グローバル教育センターウェブサイトに一覧を掲載しています。

<https://www.global.hosei.ac.jp>

(6) 修了証について

グローバル・オープン科目各領域で12単位以上取得した方には、所定の申請により「修了証」が発行されます。修了証の申請は、グローバル教育センター（市ヶ谷）、および多摩・小金井キャンパスGラウンジ受付窓口にて行います。詳細について、春学期は5月、秋学期は12月ごろにWeb掲示等でご案内します。

グローバル・オープン科目（市ヶ谷リベラルアーツセンター主催）単位修得時認定先

下記の科目は、ILAC科目（2017年度以降入学生）／市ヶ谷基礎科目（2016年度以前入学生）として認定されます。

開講期	科目名	2017年度以降入学生	2016年度以前入学生
秋	Elementary Information Technology	100番台・0群選択基盤科目	基礎科目0群（選択）
秋	Elementary Career Development		
春	Humanities B	200番台・1群リベラルアーツ科目	基礎科目1群
春	Humanities A		
春	Elementary Social Science A	100番台・2群基盤科目	基礎科目2群
秋	Elementary Social Science B		
秋	Elementary Humanities A	100番台・1群基盤科目	基礎科目1群
秋	Elementary Humanities B		
春	Social Science B	200番台・2群リベラルアーツ科目	基礎科目2群
秋	Social Science A		
春	Natural Science B	200番台・3群リベラルアーツ科目	基礎科目3群
春	Health and Physical Education	200番台・5群リベラルアーツ科目	基礎科目5群（選択）
春	Information Technology	200番台・0群リベラルアーツ科目	基礎科目0群（選択）
春	Career Development Skills		
秋	Elementary Health and Physical Education	100番台・5群基盤科目（選択）	基礎科目5群（選択）
春	English Academic Writing I ※	200番台選択外国語科目	基礎科目4群（選択）
春	English Academic Writing I ※		
春	English Academic Writing I ※		
秋	English Academic Writing II ※		
秋	English Academic Writing II ※		
秋	English Academic Writing II ※		
春	English Presentation I ※		
秋	English Presentation II ※		
春	English Reading and Vocabulary I		
秋	English Reading and Vocabulary II		
秋	Intercultural Communication A	200番台・4群リベラルアーツ科目 ※ 2017年度以前に左記科目を履修した際は、「200番台選択外国語科目」として認定されましたが、2018年度以降は「200番台・4群リベラルアーツ科目」として認定されます。	基礎科目4群（選択）
秋	Intercultural Communication B		
秋	Intercultural Communication C		
春	Intercultural Communication D		
春	Intercultural Communication F	200番台選択外国語科目	基礎科目4群（選択）
春	Intercultural Communication H		
秋	Intercultural Communication E		
秋	Intercultural Communication G		
秋	Natural Science A (Human Impact on the Global Environmentと同一授業)	300番台総合科目 (履修年次2～4年) 人間環境・キャリアデザイン学部生は 公開科目として認定	総合科目（履修年次2～4年） 人間環境・キャリアデザイン学部生は 公開科目として認定
春	L i b e r a l Arts Seminar I	300番台総合科目 (履修年次2～4年) 人間環境・キャリアデザイン学部生は 公開科目として認定	総合科目（履修年次2～4年） 人間環境・キャリアデザイン学部生は 公開科目として認定
秋	L i b e r a l Arts Seminar I I		

※2016年度以前入学生の方へ

「English Academic Writing I / II」は、4群選択科目「英語アカデミック・ライティングI / II」と同じ科目です。法・文・経営・国際文化学部の方は、4群選択科目として履修してください。
「English Presentation I / II」は、4群選択科目「映画で学ぶ英語I / II」と同じ科目です。法・文・経営・国際文化学部の方は、4群選択科目として履修してください。

グローバル教育センター設置科目・プログラムについて

(1) ERP (English Reinforcement Program/英語強化プログラム)

文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援」採択事業の一環として、英語強化プログラム (English Reinforcement Program: 「ERP」) が開講されています。授業はすべて英語イマージョン環境による少人数クラスで行われ、英語力を高めたいと考えている学生、海外留学や国際機関・国際企業への就職を考えている学生に受講を勧めます。

受講には各学期の初めにERP専用サイトからの申し込みが必要です。詳細はグローバル教育センターウェブサイトにて確認してください。

<https://www.global.hosei.ac.jp/programs/oncampus/erp/>

(2) 交換留学生受入れプログラム (ESOP)

本学の国際化の発展に向けて、これまでに交流を深めてきた海外の協定大学から広く交換留学生を受け入れるために開設されたプログラムで、日本の社会・経済・文化などについて全て英語によるゼミ形式で学びます。交換留学生とともに本学の学生も受講でき、多くの学部で単位認定もされます。語学能力を向上させ、国際的センスを磨くためにも有意義で、将来海外留学や海外勤務など国際化社会にはばたくことに役立つでしょう。交換留学生と切磋琢磨し、国際交流の輪を広げることを目的とする学生の積極的な参加を期待しています。単位認定を希望する方は、グローバル教育センターウェブサイトより申し込みが必要です。必ず確認してください。

申込方法など詳細はグローバル教育センターウェブサイトにて確認してください。

<https://www.global.hosei.ac.jp/programs/oncampus/esop/>

(3) 日本語教育プログラム (JLP)

外国籍の方を対象に、2017年4月から新設されたグローバル教育センター主催の日本語や日本文化を学ぶプログラムです。

日本での生活や大学での勉学、交流、そして将来の仕事に活かすことができる日本語力を養成することを教育目標としています。GBP、SCOPE、IGESS、ESOP以外の学生には定員に余裕がある場合、有料にて履修を認める場合があります。受講手続き期間は各学期の授業開始前に設定されています。関心のある方は早めに日本語教育プログラム事務室までお問い合わせください。

<日本語教育プログラム事務室>

新見附校舎 (大学院棟の隣) 2階 TEL : 03-5228-1542

(4) 短期語学研修

夏季休暇中と春季休暇中に、英語、中国語、朝鮮語、ドイツ語、フランス語の語学力の強化のため、2週間から4週間程の短期語学研修を実施しています。研修先は本学の海外協定校に付置された語学研修施設で、語学レベル、GPAなどに関係なく留学が可能であり、初めて海外に行く方にも推奨しています。個人の語学力に応じたレベル別の授業を行っており、初級者から上級者まで語学力の向上を目指すことができます。また、学部によっては、単位認定・卒業所要単位への算入も可能です。なお、2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、夏季は中止し春季はオンラインプログラムを実施しました。

プログラムにより実施時期・期間が異なります。詳細はグローバル教育センターウェブサイトにて確認してください。

<https://www.global.hosei.ac.jp>

(5) 国際ボランティア

グローバル教育センターが主催している「国際ボランティア」プログラムです。夏季休暇中と春季休暇中の4週間程度、派遣先で必要としている活動に他国の留学生とともに参加し、直接交流することで、文化や言葉の壁を越えて相互に理解を深めながらコミュニケーション能力を養います。詳細はグローバル教育センターウェブサイトにて確認してください。なお、2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、夏季は中止し春季はオンラインプログラムを実施しました。

<https://www.global.hosei.ac.jp>

(6) 国際インターンシップ

グローバル教育センターが主催している「国際インターンシップ」プログラムです。夏季休暇中と春季休暇中に、現場に身を置き国際協力や国際的なビジネスに対する理解を深めるため、2週間から4週間程度の「国際インターンシップ」プログラムを実施しています。

海外の企業やNGO団体でのインターンシップを通じて、グローバル環境での働き方や企業文化の違いを学びます。将来的にはグローバル企業への就職など学生のキャリア形成支援につなげることを目的としています。

プログラムにより派遣地域、派遣期間が異なります。詳細はグローバル教育センターウェブサイトにて確認してください。なお、2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、夏季は中止し春季はオンラインプログラムを実施しました。<https://www.global.hosei.ac.jp>

(7) 単位認定について

各学部の定めにより、グローバル教育センター設置科目の受講者に対しては単位が認定される場合があります。認定科目、認定単位数については各学部でご確認ください。なお、「短期語学研修」「国際ボランティア」「国際インターンシップ」の単位認定の時期は、プログラムに参加した次学期（夏季参加の場合には当該年度秋学期、春季参加の場合には翌年度春学期）に行うこととなりますので、4年生の最終学期については、単位認定ができません。また、「国際ボランティア」「国際インターンシップ」については、単位認定の対象とならないプログラムもありますので注意してください。ERP科目は所属学部の指定する方法での履修申請が必要です。「短期語学研修」「国際ボランティア」「国際インターンシップ」での単位認定を希望する場合は、事前に指定の方法にて単位認定の希望有無を集約します。なお、グローバル教育センター設置科目の単位認定詳細については「2021年度 グローバル教育センター設置科目 学部別単位認定一覧」をご確認ください。

教職課程・資格課程

教職課程

本学では一部の学部を除いて、中学校・高校の一部教科の一種教育職員免許状の取得が可能です。

教員免許を得るためには、まず基礎的な資格として、学士の学位を得る（大学を卒業する）ことが必要です。また、教育職員免許法に定められている所定の科目、単位を修得し、実際に中学・高校の教壇にたつて授業を行う教育実習を行わなくてはなりません。さらに、中学校の教員免許を取得するためには、介護等体験にも臨む必要があります。

教員免許取得可能な教科や、取得に必要なとされる科目、単位数、手続きなどの詳細は、「教職課程履修要綱」を参照してください。また、新入生で教員免許取得を考えている学生は、4月に行われる教職ガイダンスに必ず出席してください。

<教職課程センター>

ウェブサイト：http://www.hosei.ac.jp/kyoushoku_katei/index.html

富士見坂校舎3階「教職課程センター」は、教職課程を勉強する皆さんの支援のための施設です。教員採用経験者の指導員による相談・指導はもちろん、教育実習のための板書の練習、模擬授業の実施や教員採用試験対策講座に参加することができます。

教職を目指す学生の皆さんは、気軽に利用してください。

教職相談指導の申込み：kkc@ml.hosei.ac.jp宛にメール、または教職課程センターで直接申し込み（事前申込を優先いたします）

教員免許

キャリアデザイン学部では、教育職員免許取得課程の認定を2004年度から受けています。

免許教科は「中学校一種：社会科、高校一種：地理歴史科・公民科・商業科（※2017年度入学者まで）」です。

教職課程に必要な多くの科目が関連科目として配置されており、一定単位数は卒業所要単位数として有効となり、教員免許取得を奨励しています。

また、法政大学の教育学専攻の専任教員のほとんどが本学部に所属しており、教員志望の学生は適切な指導・助言が得られます。詳しくは、「教職課程履修要綱」をご覧ください。

資格課程

本学では、教職課程以外にも、図書館司書、学校図書館司書教諭、社会教育主事・社会教育士、博物館学芸員の資格を取得するための課程が設けられています。

これらの資格を取得するために必要とされる科目、単位数、手続きなどの詳細は、「資格関係科目履修要綱」を参照してください。また、これらの資格の取得を考えている学生は、4月に行われる資格ガイダンスに必ず出席してください。

図書館司書・社会教育主事・博物館学芸員等

キャリアデザイン学部では資格に必要な多くの科目が関連科目として配置されており、一定単位数は卒業所要単位として有効となります。資格課程は全学部生を対象にしますが、担当教員が本学部に所属することにより、ゼミや演習などを通じて、よりいっそうの充実した教育を受けることができます。

また、キャリアデザインについての専門性を学ぶ一環のなかで、資格を取得することができます。これらの資格は、いずれも実社会で有効に生かすことが期待されます。本学では、多数の図書館司書・社会教育主事・博物館学芸員を輩出していますが、これからもさらに優秀な人材を育成します。詳しくは、「資格関係科目履修要綱」をご覧ください。

なお、以前に日本語教員養成科目群を履修し単位を修得した学生について、さらに語学出版社（株）アルクのNAFL日本語教師養成プログラムを受講し修了した場合に、本学部長名で「証明書」を発行します。必要な場合は学部窓口で申請してください。

ILAC (アイラック) 科目/市ヶ谷基礎科目 新旧科目対応表

※単位数や履修年次は、科目一覧で確認して下さい。

2017年度以降入学生				2014～2016年度入学生		備考
群	科目配置	必修選択	授業科目	群	授業科目	
0群	基盤	必修	基礎ゼミ	0群	基礎ゼミ	
		選択	リベラルアーツ特別講座		リベラルアーツ特別講座	
	課題解決型フィールドワーク		課題解決型フィールドワーク			
情報処理演習	情報処理演習		2020年度より春学期のみ開講			
キャリアデザイン入門	キャリアデザイン入門					
キャリアデザイン応用	キャリアデザイン応用					
キャリアデザイン演習	キャリアデザイン演習		2017年度で閉講			
就業基礎力養成Ⅰ/Ⅱ	就業基礎力養成Ⅰ/Ⅱ	2017年度で閉講				
大学を知ろう <法政学>への招待	大学を知ろう <法政学>への招待	2019年度より「法政学への招待」から名称変更				
リベラル	選択	法政学の探究LA ◇ 法政学の探究LB ◇ リベラルアーツ特別実習	法政学の探究A 法政学の探究B リベラルアーツ特別実習	2021年度新規開講		
1群	基盤	選択必修	日本古典文学A ◇	文学Ⅰ		
			日本古典文学B ◇	文学Ⅱ		
			日本近・現代文学A ◇	文学Ⅰ		
			日本近・現代文学B ◇	文学Ⅱ		
			日本文学A ◇	文学Ⅰ		
			日本文学B ◇	文学Ⅱ		
			外国文学A ◇	文学Ⅰ		
			外国文学B ◇	文学Ⅱ		
			文章論 ◇	文章論Ⅰ		
			言語学A ◇		※1	
			言語学B ◇			
			哲学Ⅰ/Ⅱ	哲学Ⅰ/Ⅱ		
			倫理学Ⅰ/Ⅱ	倫理学Ⅰ/Ⅱ		
			論理学Ⅰ/Ⅱ	論理学Ⅰ/Ⅱ		
			東洋史Ⅰ/Ⅱ	東洋史Ⅰ/Ⅱ		
	西洋史Ⅰ/Ⅱ	西洋史Ⅰ/Ⅱ				
	日本史Ⅰ/Ⅱ	日本史Ⅰ/Ⅱ				
	宗教論Ⅰ/Ⅱ	宗教論Ⅰ/Ⅱ				
	芸術A	芸術Ⅰ				
	芸術B	芸術Ⅱ				
	リベラル	選択必修	日本文学と文化LA/LC/LE/LG ◇ 日本文学と文化LB/LD/LF/LH ◇ 外国文学と文化LA/LC/LE ◇ 外国文学と文化LB/LD/LF ◇ 文学と社会LA/LC/LE ◇ 文学と社会LB/LD/LF ◇ 音声学L ◇ 哲学Ⅰ/Ⅱ ◇ 倫理学Ⅰ/Ⅱ ◇ 論理学Ⅰ/Ⅱ ◇ 東洋史Ⅰ/Ⅱ ◇ 西洋史LA ◇ 西洋史LB ◇ 日本史Ⅰ/Ⅱ ◇ 宗教論Ⅰ/Ⅱ ◇ 法学Ⅰ/Ⅱ	文学Ⅰ 文学Ⅱ 文学Ⅰ 文学Ⅱ 文学Ⅰ 文学Ⅱ 文学Ⅰ 文学Ⅱ 文章論Ⅰ 哲学Ⅰ/Ⅱ 倫理学Ⅰ/Ⅱ 論理学Ⅰ/Ⅱ 東洋史Ⅰ/Ⅱ 西洋史Ⅰ/Ⅱ 日本史Ⅰ/Ⅱ 宗教論Ⅰ/Ⅱ 芸術Ⅰ 芸術Ⅱ 文学Ⅰ 文学Ⅱ 文学Ⅰ 文学Ⅱ 文学Ⅰ 文学Ⅱ 哲学Ⅰ/Ⅱ 倫理学Ⅰ/Ⅱ 論理学Ⅰ/Ⅱ 東洋史Ⅰ/Ⅱ 西洋史Ⅰ 西洋史Ⅱ 日本史Ⅰ/Ⅱ 宗教論Ⅰ/Ⅱ 法学Ⅰ/Ⅱ	2020年度休講 (LE) 2020年度休講 (LF) ※1	
2群	基盤	選択必修	法学(日本国憲法)	法学(日本国憲法)		
			経済学Ⅰ/Ⅱ	経済学Ⅰ/Ⅱ		
			心理学Ⅰ/Ⅱ	心理学Ⅰ/Ⅱ		
			地理学Ⅰ/Ⅱ	地理学Ⅰ/Ⅱ		
			政治学Ⅰ/Ⅱ	政治学Ⅰ/Ⅱ		
			社会学Ⅰ/Ⅱ	社会学Ⅰ/Ⅱ		
	文化人類学 ◇	文化人類学Ⅰ				
	社会思想Ⅰ/Ⅱ	社会思想Ⅰ/Ⅱ				
	リベラル	選択必修	経済学LA ◇ 経済学LB ◇ 心理学LA ◇ 心理学LB ◇ 地理学LA/LC ◇ 地理学LB/LD ◇ 政治学LA ◇ 政治学LB ◇ 社会学LA/LC ◇ 社会学LB/LD ◇ 文化人類学L ◇ 社会思想LA ◇ 社会思想LB ◇	経済学Ⅰ 経済学Ⅱ 心理学Ⅰ 心理学Ⅱ 地理学Ⅰ 地理学Ⅱ 政治学Ⅰ 政治学Ⅱ 社会学Ⅰ 社会学Ⅱ 文化人類学Ⅱ 社会思想Ⅰ 社会思想Ⅱ		
	3群	基盤	選択必修	教養数学A	教養数学A	
				教養数学B	教養数学B	
				基礎数学Ⅰ/Ⅱ	基礎数学Ⅰ/Ⅱ	
				入門物理学A ◇	原子から宇宙までⅠ	
				入門物理学B ◇	原子から宇宙までⅡ	
				入門生物学A ◇	生命科学Ⅰ	
入門生物学B ◇				生命科学Ⅱ		
入門化学A ◇				物質と環境Ⅰ		
入門化学B ◇				物質と環境Ⅱ		
サイエンス・ラボA				サイエンス・ラボA		
サイエンス・ラボB		サイエンス・ラボB				
天文学A		天文学Ⅰ				
天文学B		天文学Ⅱ				
科学史A		科学史Ⅰ				
科学史B		科学史Ⅱ				
リベラル	選択必修	数学特講LA ◇ 数学特講LB ◇ 発展数学Ⅰ/Ⅱ ◇ 教養物理学LA ◇ 教養物理学LB ◇ 教養生物学LB/LD/LF ◇ 教養生物学LA/LC/LE ◇ 教養化学LA ◇ 教養化学LB ◇ 教養化学LC ◇ 教養化学LD ◇ 教養化学LE ◇	教養数学A 教養数学B 基礎数学Ⅰ/Ⅱ 原子から宇宙までⅠ 原子から宇宙までⅡ 生命科学Ⅰ 生命科学Ⅱ 物質と環境Ⅰ 物質と環境Ⅱ サイエンス・ラボA サイエンス・ラボB 天文学Ⅰ 天文学Ⅱ 科学史Ⅰ 科学史Ⅱ 教養数学A 教養数学B 発展数学Ⅰ/Ⅱ 原子から宇宙までⅠ 原子から宇宙までⅡ 生命科学Ⅰ 生命科学Ⅱ 物質と環境Ⅰ 物質と環境Ⅱ	2021年度休講 (LF) 2021年度休講 (LE)		

4群	リベラル	選択	ドイツの文化と社会LA ◇	総合 科目		※1	
			ドイツの文化と社会LB ◇		※1		
			ドイツ語の世界LA ◇		※1		
			ドイツ語の世界LB ◇		※1		
			フランスの文化と社会LA ◇		※1		
			フランスの文化と社会LB ◇		※1		
			フランス語の世界LA ◇		※1		
			フランス語の世界LB ◇		※1		
			フランス生活文化論LA		※1		
			フランス生活文化論LB		※1		
			ロシアの文化と社会LA ◇		※1		
			ロシアの文化と社会LB ◇		※1		
			ロシア語の世界LA ◇		※1		
			ロシア語の世界LB ◇		※1		
			中国の文化と社会LA/LC ◇		※1		
			中国の文化と社会LB/LD ◇		※1		
			中国語の世界LA ◇		※1		
			中国語の世界LB ◇		※1		
			スペイン語の世界LA ◇		※1		
			スペイン語の世界LB ◇		※1		
			朝鮮の文化と社会LA ◇		※1		
			朝鮮の文化と社会LB ◇		※1		
			日本の文化と社会LA ◇		※1		
			日本の文化と社会LB ◇		※1		
			日本語の世界LA ◇		日本語の世界I	※3	
			日本語の世界LB ◇		日本語の世界II	※3	
			4群		外国語科目	必修	英語1-1/II
英語2-1/II	英語2-1/II						
選択	Practical English (オーラル・コミュニケーション) A-1/II	Practical English (オーラル・コミュニケーション) A-1/II					
	Practical English (オーラル・コミュニケーション) B-1/II	Practical English (オーラル・コミュニケーション) B-1/II					
	Practical English (ビジネス・コミュニケーション) A-1/II	Practical English (ビジネス・コミュニケーション) A-1/II					
	Practical English (ビジネス・コミュニケーション) B-1/II	Practical English (ビジネス・コミュニケーション) B-1/II					
	Practical English (英語検定試験対策) A-1/II	Practical English (英語検定試験対策) A-1/II					
	Practical English (英語検定試験対策) B-1/II	Practical English (英語検定試験対策) B-1/II					
必修	English for Study Abroad I/II	English for Study Abroad I/II					
	入門英語(SS1) I/II	入門英語(SS1) I/II					
	ドイツ語	ドイツ語1-1/II		ドイツ語1-1/II			
		ドイツ語2-1/II		ドイツ語2-1/II			
	選択	ドイツ語表現法 I/II		ドイツ語表現法 I/II			
		入門ドイツ語(SS1) I/II ◇		スポーツ・ドイツ語 I/II			
検定ドイツ語 I/II		検定ドイツ語 I/II					
ドイツ語コミュニケーション I/II		ドイツ語コミュニケーション I/II					
ドイツ語視聴覚 I/II		ドイツ語視聴覚 I/II					
時事ドイツ語 I/II		時事ドイツ語 I/II					
必修	フランス語1-1/II	フランス語1-1/II					
	フランス語2-1/II	フランス語2-1/II					
	選択	フランス語視聴覚(入門) I/II ◇		フランス語視聴覚 I/II		2021年度休講	
		フランス語視聴覚(初・中級) I/II ◇		フランス語視聴覚 III/IV		2021年度休講	
				スポーツ・フランス語 I/II		※2	
				観光フランス語 I/II		※2	
	フランス語コミュニケーション(初級) I/II	フランス語コミュニケーション I/II					
	時事フランス語 I/II	時事フランス語 I/II					
	検定フランス語(初級) I/II ◇	検定フランス語 I/II		2021年度休講			
	情報フランス語 I/II	情報フランス語 I/II	2021年度休講				
必修	ロシア語1-1/II	ロシア語1-1/II					
	ロシア語2-1/II	ロシア語2-1/II					
必修	中国語1-1/II	中国語1-1/II					
	中国語2-1/II	中国語2-1/II					
選択	中国語視聴覚初級 I/II ◇	中国語視聴覚 I/II					
	中国語作文初級 I/II ◇	中国語表現法 I/II					
	中国語コミュニケーション基礎 I/II ◇	中国語コミュニケーション I/II	2021年度休講				
	中国語コミュニケーション初級 I/II ◇	中国語コミュニケーション I/II					
	資格中国語初級 I/II ◇	検定中国語 I/II					
必修	スペイン語1-1/II	スペイン語1-1/II					
	スペイン語2-1/II	スペイン語2-1/II					
選択	現代のスペイン語 I/II	時事スペイン語 I/II	2021年度より「時事スペイン語 I/II」より名称変更				
		スペイン語講読 I/II	※2 2019年度より閉講				
		スペイン語コミュニケーション I/II					
必修	朝鮮語1-1/II	朝鮮語1-1/II					
	朝鮮語2-1/II	朝鮮語2-1/II					
	朝鮮語3C (コミュニケーション) I/II ◇	朝鮮語コミュニケーション I/II					
	朝鮮語4B (視聴覚) I/II ◇	朝鮮語視聴覚 I/II					
	朝鮮語5A (購読) I/II ◇	朝鮮語講読 I/II					
選択	朝鮮語5B (表現法) I/II ◇	朝鮮語表現法 I/II					
必修	日本語1-1/II	日本語1-1/II					
	日本語2-1/II	日本語2-1/II					
選択		日本語コミュニケーション I/II	※2				
5群	基盤	必修	スポーツ総合演習	5群	スポーツ総合演習		
		選択	スポーツ総合演習S ◇		スポーツ総合演習		
5群	リベラル	選択	健康の科学LA ◇	0群		※1	
		選択	健康の科学LB ◇				

※1・・・2017年度以降入学者のみ履修可
 ※2・・・2016年度以前入学者のみ履修可
 ※3・・・2016年度以前入学者は、0群科目として履修
 ◇・・・2017年度以降入学者と2016年度以前入学者で科目名が異なるもの。

◆履修 (本項目は2017年度以降入学生向けです。2016年度以前入学生は別ファイルを参照してください)

履修登録

履修に際しては、自分が関心を持つテーマに関連した学問分野の科目の単位を、確実にしかも段階を追って修得していくことが必要です。市ヶ谷基礎科目の中には、学部の専門科目を学ぶ上で前提になるような基本的内容を取り上げている科目があります。また、学部科目の中にも、科目間の履修順序を守る必要がある科目があります。「法政大学webシラバス」で各科目の内容説明を読み、自分にとってどの順番でそれぞれの科目を履修していくのが適切であるのかを、考えてください。



法政大学 web シラバス

具体的な履修の計画をする前に、キャリアデザイン学部主催の各学年向けガイダンスに必ず出席し説明を受けてください。さらに毎年4月に行われる履修相談会を活用して履修計画を立てることもできます。キャリアデザイン学部独自の制度として、学部生は、「キャリアアドバイザー」と呼ばれる学部専門職員に履修に関しての相談をすることができます。個別に履修相談がしたい場合は、キャリアアドバイザールーム（富士見坂校舎3階）のキャリアアドバイザーに相談してください。

1 登録制度とは

単位を修得するためには、指定の期日までに履修したい科目を登録する、「履修登録」という手続きを確実に行わなければなりません。履修登録は春学期・秋学期セメスター開始時の年2回行います。この履修登録はとても重要で、登録を怠った場合は当該セメスターの単位の修得はできず留年となることもあります。また、登録エラーがあった場合、放置したままにすると登録自体が無効となり単位の修得ができません。

みなさんが履修登録の意思表示をした科目はコンピューター処理され、履修が手引きどおりになされているか判定されます。エラーを完全になくしないと正式な登録となりませんので、必ずこの手引きをよく読み、エラーを出さないよう注意してください。ただし、コンピューター処理をしているといっても、すべて細かい部分まで完全に判定はできないこともあります。登録した科目に間違いがないか、履修条件に合っているかは、各自で必ず確認しなければなりません。

履修登録についての詳細は、法政ポータルサイト（Hoppii）内の学部Web掲示板等にてお知らせしますので必ず確認してください。

学則第22条	学生は、履修しようとする授業科目を毎年所定の期間内に届け出て、承認を得なければならない。
学則第39条	新入生で指定された期日までに履修届を提出しない等、その他本学において修学する意志がないと認められる者は教授会の議を経て除籍する。

期限までに登録しない場合、当該セメスター開講科目の受講が認められず単位の取得ができないばかりか除籍となることもあります。十分注意してください。

2 履修登録前の準備（必ず行ってください）

キャリアデザイン学部では、一部の抽選科目を除き、履修登録期間よりも先に授業が始まります。まずは履修したい科目を学習支援システムに仮登録し、授業に臨んでください。学習支援システムには法政ポータルサイト(Hoppii)からアクセスすることができます。学習支援システムに仮登録することで、その授業に関するお知らせや教材の参照、休講や教室変更等の連絡を受け取ることができます。履修したい授業はすべて仮登録することを忘れないでください。

ただし、学習支援システムへの仮登録は履修登録とは異なります。あくまで、履修登録期間に履修登録をしないと単位が修得できませんので注意してください。

3 履修登録のしかた

学習支援システムへの登録は、あくまでも仮登録です。法政ポータルサイト (Hoppii) から情報システムにアクセスし、履修登録を行ってください。また、履修登録前には必ず「Web履修ガイド」(学部Web掲示板に記載) を読んでください。法政ポータルサイト (Hoppii) のURL、QRコードは以下のとおりです。

<https://hoppii.hosei.ac.jp>



法政ポータルサイト

履修登録期限については、つぎのことに注意が必要です。

- ・ 掲示された期日までに、必ず自分自身で申請してください。
- ・ 履修登録期間中に病気や不可抗力の事故等のため履修登録ができなかった場合には、診断書等の証明書をつけ、キャリアデザイン学部窓口に出してください。連絡や正当な理由がなく期日に遅れた場合、登録の申請は受け付けません。

履修登録期間後に、日時・時間を勘違いしていた、忘れていた、(締切間際にログインして) PC・システム等の操作方法がわからなかった、あるいはアルバイトがあったからといったような理由での事後登録もしくは登録内容の変更は一切認められません。

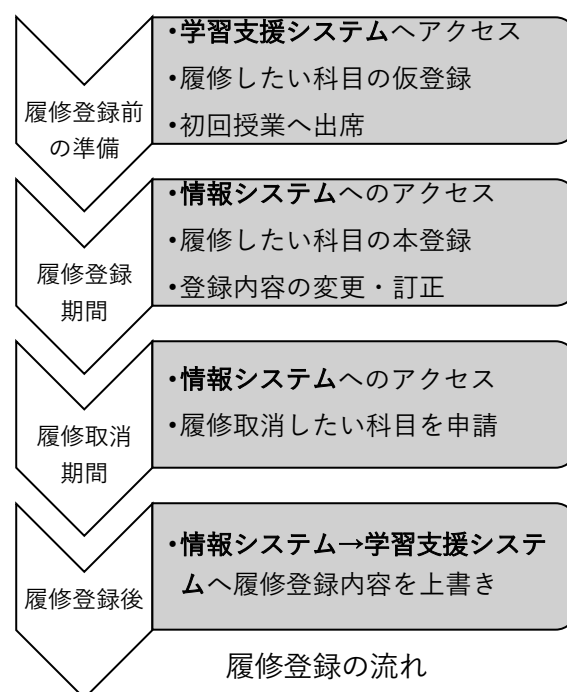
履修登録については、卒業・進級に関係してくる重大な事項ですので、必ず所定期間内に登録内容を確認し、手続きを完了させるようにしてください。

4 登録単位制限と重複登録について

登録できる単位数には、 Semester・年次ごとに上限があります。この制限を超えて登録すると、「登録エラー」となり、すべての科目の履修登録が無効となりますので、注意が必要です。

<注意>

- ・ 履修登録をしていない科目・曜日・時限の授業へ出席したり、試験を受けたりしても単位の修得はできません。
- ・ 大学から成績や緊急の連絡等に関する重要書類を郵送することがありますので、転居した際は必ず住所変更の手続きをとってください。
- ・ 留年および復学・復籍した場合、学生証番号・所属クラスが変更になる場合があります。留年・復学・復籍した当該年次のカリキュラムにもとづいて、登録してください。



履修登録上の注意点

クラス指定・定員のある科目について

以下の科目は、原則としてクラス指定もしくは定員制が設けられているので、必ずしも希望通りの時間に履修できるとは限りません。

- (1) I L A C科目4群の必修外国語は、指定されたクラスで受講してください。
- (2) I L A C科目4群の選択外国語は、各授業とも受講者数に制限があります。
- (3) I L A C科目5群の科目は、通常授業のクラス指定か集中授業のいずれかになります。
- (4) I L A C科目3群のサイエンス・ラボA/Bは、受講者数に制限があります。
- (5) I L A C科目のうち、履修者が大人数となる授業については抽選があります。詳細については17ページからの案内を読んでください。
- (6) 入門系の授業の受講は、クラス指定されている場合があります。
- (7) 国際コミュニケーション語学は、各授業とも受講者数に制限があります。
- (8) 情報実習室を使用する授業は、受講者数に制限があります。
- (9) 体験型選択必修科目は受講者数に制限があります。
- (10) 上記以外にも受講制限を行う場合があります。選抜方法の詳細についてはweb掲示板や講義概要(シラバス)を参照してください。

履修登録科目確認通知書について

履修登録科目確認通知書とは、皆さんがWEB上で履修登録した科目の科目名や単位数などの登録内容を表記したものであり、皆さんが登録した科目と実際に登録された科目とが一致しているかどうかを確認するためのものです。

履修登録が完了すると、「履修登録科目確認通知書」を出力することができますので、履修登録が完了したら必ずプリントアウトし、自分の登録に誤りがないかどうかを確認してください。

同一名の科目が複数の曜日・時限、担当教員で開講されている場合もあります。

科目名だけでなく曜日・時限、担当教員名等も必ず確認してください。

また、エラー表示や誤登録があった場合には、ただちに訂正手続きをとらなければ、履修登録が完了したことになりません。履修登録が完了していない場合、その科目の登録のみならず、すべての科目の登録が無効となり、仮に授業に出席して試験を受けたとしても、成績評価の対象外となるので十分注意してください。

「履修登録科目確認通知書」の確認を怠ったために履修登録の誤りを見過ごし、結果的に単位を修得できなかった例は毎年必ずあります。十分注意してください。

履修科目の変更・取消について

履修登録内容にエラーがあり、登録ができない場合はエラーの訂正をしないと履修登録が完了しません。必ずエラーを修正してください。

また、履修意思がなくなったために登録を取りやめる場合、指定された期間内に限り、変更・取消ができます。詳しくはキャリアデザイン学部からの案内を確認し、情報システムで手続きをしてください。

よくある質問（履修）

問い合わせの多い事例	回 答
履修	
履修許可が必要な科目の初回授業に出席しておらず、履修登録期間内に許可を取るのが難しい。 今から履修することはできるか、また履修登録を延長してもらえないか。	まずは、その科目を担当する教員が他の科目を担当していないか、時間割やシラバスで確認してください。他の科目を担当している場合は、その授業の前後で教員に履修許可をもらえないか相談してください。履修登録期間の延長は認められません。
教員に履修許可を得たので、履修登録をしなくてもよいと思った。	履修許可を得ただけでは、履修登録したことになりません。自身でWeb履修登録をする必要があります。また、履修登録期間外の科目の追加は認められません。
学習支援システムに入力したので、履修登録は終わったと思っていた。	法政大学情報ポータルサイトと学習支援システムは別のシステムで連動していません。 学習支援システムでは履修登録はできません。
成績調査の結果次第で、履修内容が変わるため、履修登録期間を延長して欲しい。	学部窓口で相談してください。
履修登録していない授業に出ていた。	単位の修得は、履修登録した科目のみ可能です。履修登録していない科目の単位修得はできません。また、履修登録期間外の科目の追加は認められません。
履修登録科目確認通知書に記載の科目と学習支援システムに登録した科目が一致しないが、どちらが正しいのか。	情報ポータルサイトの登録科目が正規の履修登録科目です。履修登録した科目については必ず、「履修登録科目確認通知書」を印刷、確認してください。確認後も履修年度中は大切に保管してください。なお、学部窓口では、履修および成績についての相談を受け付けていますが、あくまで相談であり、進級および卒業を保証するものではありません。履修および成績については、必ず自分自身で責任をもって確認するようにしてください。
「English」の習熟度別クラスについていけないので、クラスを変更したい。	英語能力の測定テストに基づき、クラスを決定しています。クラス変更はできません。
第二外国語を変更したい。	入学時に選択した諸外国語を変更することはできません。
2年次英語・諸外国語選択希望登録を忘れていた。	指定された期間に回答しなかった場合には、自動的にパターンAまたはパターンBが割り振られます。